

江戸川区内中小企業の景況について

2022年4月～6月期



江戸川区産業経済部産業経済課計画係

調査実施機関 一般社団法人東京都信用金庫協会

分析・作成 株式会社総合企画

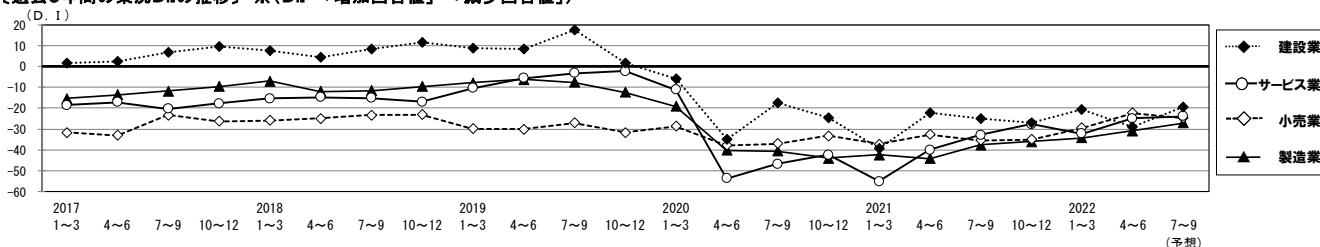
江戸川区内の中小企業の景況（2022年4月～6月期）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

**業況判断DIは厳しい状況が継続するが、5期連続で良化し、
来期も3.3ポイント良化の見込み。**

～小売業が大幅に良化し、サービス業も多少持ち直したが、建設業で悪化傾向が大きく強まる。

【過去5年間の業況D.I.の推移】 ※(D.I.=「増加回答値」-「減少回答値」)



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合-「悪い」企業割合）は-31.0と継続して厳しい状況が続いているものの、前期（-31.5）より0.5ポイント良化した。業種別に見ると、小売業で大幅に良化した。建設業で大きく悪化した。

来期は、建設業で大幅な良化が見込まれ、製造業も多少改善が見込まれるため、総合（4業種）では3.3ポイント良化すると予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-34.2	-30.8	3.4	-27.1	3.7
小売業	-29.5	-22.3	7.2	-24.7	-2.4
サービス業	-32.2	-25.0	7.2	-23.9	1.1
建設業	-20.6	-29.0	-8.4	-19.3	9.7
総合	-31.5	-31.0	0.5	-27.7	3.3

※前期（2022年1～3月） 来期（2022年7～9月）
※「総合」は上記の4業種でのD.I.値

<製造業>

業況は厳しさがやや和らいだ。売上額、受注残、収益は減少・減益傾向が大きく改善した。販売価格は前期並で推移し、原材料価格は上昇傾向がかなり強まり厳しさを増した。原材料在庫数量は2期連続で不足感が見られた。

中分類業種別に見ると、「木材・木製品、家具・装備品」と「繊維工業、衣服・その他繊維製品」は悪化傾向が大幅に改善し、「一般、金型、電気、輸送、精密機械器具」は悪化傾向が多少緩和した。「パルプ・紙、印刷、製本業」と「金属製品、建設用金属製品」は悪化傾向がやや強まり、「食料品」は悪化傾向が大幅に強まった。「プラスチック製品」は厳しいながらも横這いで推移した。

来期の業況は悪化傾向がやや弱まると見ている。売上額は減少傾向が幾分改善し、収益は減益傾向が大きく改善すると予想している。

<小売業>

業況は厳しい状況に変化はないものの3期連続で改善傾向が続いた。売上額と収益は減少・減益傾向が大幅に改善した。販売価格は大きく改善したが、仕入価格も大きく上昇し厳しさが増した。

中分類業種別に見ると、「飲食料品」と「家具・じゅう器、家電・家庭用機械」は厳しい状況に変わりはないものの前期並に推移した。「衣服、呉服、身の回り品」は悪化傾向が非常に大きく改善した。

来期の業況はわずかに悪化傾向が強まると見ている。売上額と収益は減少・減益傾向が横這いで推移すると予想している。

<サービス業>

業況は悪化傾向が大幅に弱まった。売上額は減少傾向が大きく改善し、収益は減益傾向が多少緩和した。価格面では、料金価格はわずかに上昇し改善したものの、材料価格が大きく上昇し厳しさが増した。

来期の業況は厳しい状況が継続し、変化なく推移すると予想しており、売上額と収益は今期並の減少・減益傾向が続くと見ている。

<建設業>

業況は1期で揺り戻し、悪化傾向が大きく強まった。売上額は大幅に減少し、受注残も大幅に減少傾向が強まり厳しさを増した。施工高と収益は減少・減益傾向が大きく強まった。価格面では、請負価格は前期並に推移し、材料価格は多少下降したものの非常に厳しい状態が続いている。

来期の業況は大きく持ち直し、売上額と収益は減少・減益傾向がやや改善すると予想しており、受注残と施工高は大幅に改善すると予想している。

※ D. I. (Diffusion Index) の略

D. I. (ディーアイ) は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

製 造 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、受注残、収益

業況（ $\Delta 36.0 \rightarrow \Delta 34.2 \rightarrow \Delta 30.8$ ）は厳しさが幾分和らいだ。

売上額（ $\Delta 31.8 \rightarrow \Delta 34.2 \rightarrow \Delta 22.2$ ）、受注残（ $\Delta 31.7 \rightarrow \Delta 34.1 \rightarrow \Delta 21.1$ ）、収益（ $\Delta 32.4 \rightarrow \Delta 34.5 \rightarrow \Delta 24.2$ ）はいずれも減少・減益傾向が大きく改善した。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 27.1$ 予想）は悪化傾向が多少弱まると見ている。売上額（ $\Delta 17.4$ 予想）と受注残（ $\Delta 15.6$ 予想）は減少傾向がやや改善し、収益（ $\Delta 18.1$ 予想）は減益傾向が大幅に緩和すると予想している。

（２）販売価格、原材料価格、原材料在庫数量

販売価格（ $\Delta 0.8 \rightarrow 3.8 \rightarrow 4.1$ ）は前期並に推移したが、原材料価格（ $30.7 \rightarrow 38.0 \rightarrow 48.4$ ）は上昇傾向が大きく強まり更に厳しさを増した。原材料在庫数量（ $\Delta 1.3 \rightarrow \Delta 3.9 \rightarrow \Delta 3.2$ ）は2期連続で不足感が見られた。

来期の見通しについて、販売価格（ 9.0 予想）は若干上昇し、原材料価格（ 43.2 予想）はわずかに下降傾向に転じると予想している。原材料在庫数量（ $\Delta 0.8$ 予想）は適正範囲に保たれると見ている。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ $\Delta 15.4 \rightarrow \Delta 13.6 \rightarrow \Delta 12.5$ ）は前期並の苦しさが続き、借入難易度（ $\Delta 10.1 \rightarrow \Delta 6.4 \rightarrow \Delta 10.9$ ）は厳しさがやや増した。

設備投資を「実施した」企業（ $11.4\% \rightarrow 8.9\% \rightarrow 10.7\%$ ）は前期から1.8ポイント増加した。

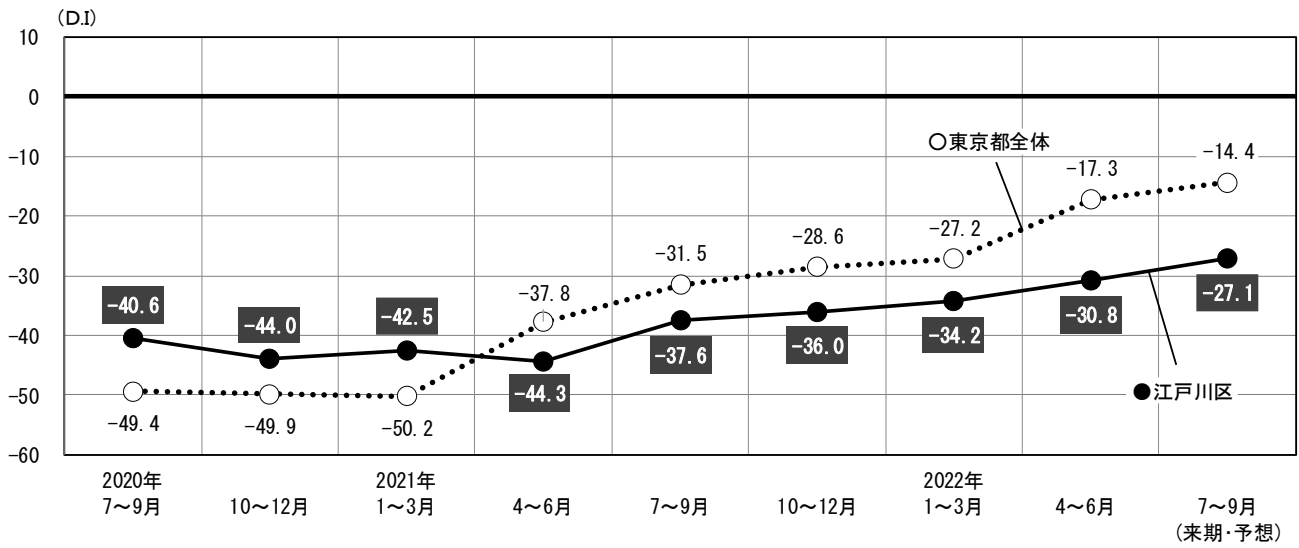
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 9.9$ 予想）は多少厳しさが和らぐと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

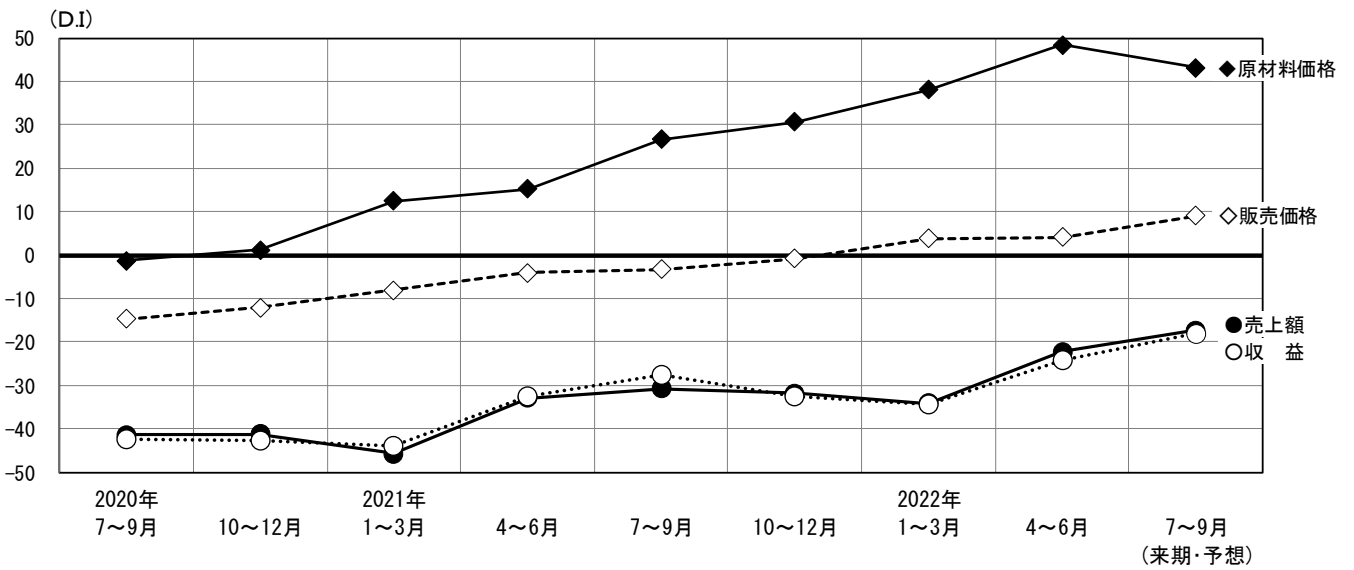
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（ 48.1% ）が今期も最多となった。以下、「原材料高」（ 32.7% ）、「利幅の縮小」（ 19.2% ）、「同業者間の競争の激化」（ 18.6% ）、「仕入先からの値上げ要請」（ 17.3% ）の順であった。

重点経営施策は、「販路を広げる」（ 57.1% ）が今期も最多となった。以下、「経費を節減する」（ 49.4% ）、「情報力を強化する」（ 16.0% ）、「新製品・技術を開発する」、「人材を確保する」（各 10.3% ）の順であった。

【製造業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

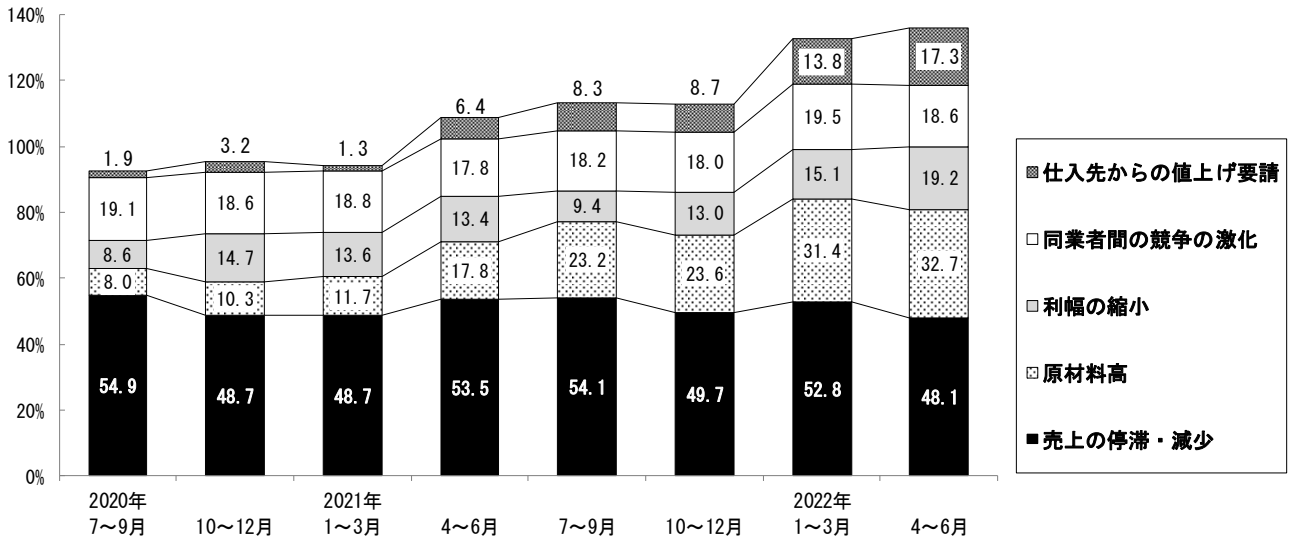


【製造業】 売上額・収益・販売価格・原材料価格の推移



【製造業】 経営上の問題点 (複数回答)

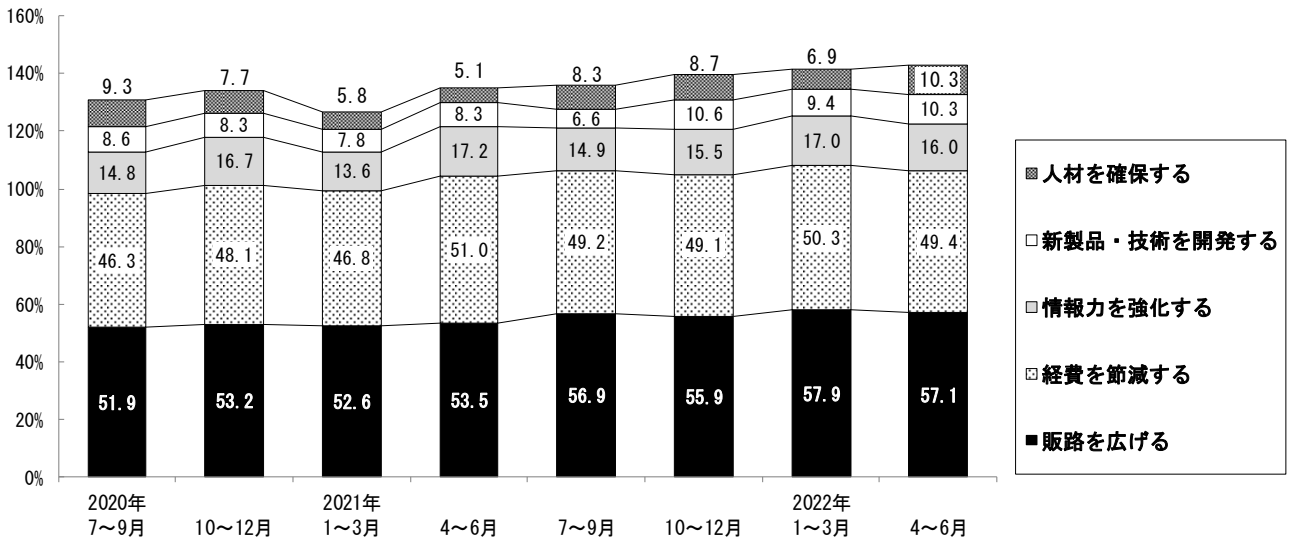
2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期		2022年4～6月期	
売上の停滞・減少	54.1%	売上の停滞・減少	49.7%	売上の停滞・減少	52.8%	売上の停滞・減少	48.1%
原材料高	23.2%	原材料高	23.6%	原材料高	31.4%	原材料高	32.7%
同業者間の競争の激化	18.2%	同業者間の競争の激化	18.0%	同業者間の競争の激化	19.5%	利幅の縮小	19.2%
利幅の縮小	9.4%	利幅の縮小	13.0%	利幅の縮小	15.1%	同業者間の競争の激化	18.6%
人手不足	8.8%	大手企業との競争の激化	10.6%	仕入先からの値上げ要請	13.8%	仕入先からの値上げ要請	17.3%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

【製造業】 重点経営施策 (複数回答)

2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期		2022年4～6月期	
販路を広げる	56.9%	販路を広げる	55.9%	販路を広げる	57.9%	販路を広げる	57.1%
経費を節減する	49.2%	経費を節減する	49.1%	経費を節減する	50.3%	経費を節減する	49.4%
情報力を強化する	14.9%	情報力を強化する	15.5%	情報力を強化する	17.0%	情報力を強化する	16.0%
人材を確保する	8.3%	新製品・技術を開発する	10.6%	新製品・技術を開発する	9.4%	新製品・技術を開発する	10.3%
提携先を見つける	7.2%	人材を確保する	8.7%	機械化を推進する	8.2%	人材を確保する	



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

製造業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

① 食料品

業況（ $\Delta 22.0 \rightarrow \Delta 28.8 \rightarrow \Delta 42.2$ ）は悪化傾向がかなり強まった。売上額（ $\Delta 22.2 \rightarrow \Delta 32.6 \rightarrow \Delta 42.2$ ）、受注残（ $\Delta 23.0 \rightarrow \Delta 30.0 \rightarrow \Delta 43.2$ ）、収益（ $\Delta 13.4 \rightarrow \Delta 33.5 \rightarrow \Delta 51.1$ ）は減少・減益傾向が大幅に強まった。

販売価格（ $\Delta 0.1 \rightarrow 0.8 \rightarrow 6.1$ ）は上昇幅が拡大したが、原材料価格（ $28.6 \rightarrow 27.9 \rightarrow 48.8$ ）は極端に上昇し厳しさが更に強まった。原材料在庫数量（ $3.6 \rightarrow 1.0 \rightarrow \Delta 11.7$ ）は適正範囲から不足に大きく振れた。

資金繰り（ $\Delta 19.4 \rightarrow \Delta 15.9 \rightarrow \Delta 23.9$ ）は窮屈感が大幅に強まり、借入難易度（ $\Delta 20.0 \rightarrow 0.0 \rightarrow \Delta 27.3$ ）も厳しさが極端に増した。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 43.2$ 予想）は今期並の悪化傾向が続くと見ている。売上額（ $\Delta 33.4$ 予想）と受注残（ $\Delta 33.2$ 予想）は減少傾向が大きく和らぎ、収益（ $\Delta 49.5$ 予想）は今期並の水準で推移すると見ている。販売価格（ 17.1 予想）は大きく上昇し、原材料価格（ 44.5 予想）は幾分下降すると予想している。原材料在庫数量（ $\Delta 3.0$ 予想）は不足感が大幅に緩和すると予想している。

② 一般、金型、電気、輸送、精密機械器具

業況（ $\Delta 22.5 \rightarrow \Delta 26.2 \rightarrow \Delta 20.6$ ）は悪化傾向が幾分弱まった。売上額（ $\Delta 13.0 \rightarrow \Delta 25.2 \rightarrow \Delta 5.9$ ）、受注残（ $\Delta 14.8 \rightarrow \Delta 17.4 \rightarrow \Delta 3.9$ ）は減少傾向が大きく改善し、収益（ $\Delta 16.1 \rightarrow \Delta 14.5 \rightarrow 1.4$ ）は増益傾向に大きく転じた。

販売価格（ $\Delta 6.0 \rightarrow 1.4 \rightarrow 8.2$ ）は上昇して好調感が現れたが、原材料価格（ $45.8 \rightarrow 40.3 \rightarrow 49.1$ ）は大幅に上昇し厳しさが増した。原材料在庫数量（ $\Delta 1.5 \rightarrow \Delta 1.0 \rightarrow 7.6$ ）は適正範囲から過剰に大きく振れた。

資金繰り（ $\Delta 16.1 \rightarrow \Delta 5.3 \rightarrow \Delta 15.1$ ）は窮屈感が大きく強まり、借入難易度（ $\Delta 19.2 \rightarrow \Delta 10.5 \rightarrow \Delta 13.6$ ）も厳しさがやや増した。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 19.9$ 予想）は今期同様の悪化傾向が続くと見ている。売上額（ $\Delta 3.4$ 予想）と受注残（ 1.5 予想）は減少傾向が多少弱まり、収益（ $\Delta 1.8$ 予想）は減益傾向がやや強まると予想している。販売価格（ $\Delta 1.3$ 予想）は大幅な下降に転じ、原材料価格（ 39.8 予想）は上昇傾向が大きく弱まると予想している。原材料在庫数量（ 7.4 予想）は今期並の過剰感が続くと見ている。

③ 金属製品、建設用金属製品

業況（ $\Delta 27.9 \rightarrow \Delta 19.0 \rightarrow \Delta 22.4$ ）は悪化傾向が多少強まった。売上額（ $\Delta 29.2 \rightarrow \Delta 8.2 \rightarrow \Delta 6.8$ ）は前期並の減少傾向で推移したが、受注残（ $\Delta 35.9 \rightarrow \Delta 20.8 \rightarrow \Delta 14.3$ ）は減少傾向が大きく改善し、収益（ $\Delta 36.0 \rightarrow \Delta 29.3 \rightarrow \Delta 24.0$ ）は減益傾向がやや弱まった。

販売価格（ $10.8 \rightarrow 16.0 \rightarrow 16.7$ ）は前期並の水準で推移したが、原材料価格（ $40.1 \rightarrow 56.0 \rightarrow 69.1$ ）は大幅に上昇し厳しさを強めた。原材料在庫数量（ $1.8 \rightarrow 4.2 \rightarrow 3.4$ ）は前期並の過剰感が続いた。

資金繰り（ $\Delta 5.5 \rightarrow \Delta 12.2 \rightarrow \Delta 3.7$ ）は厳しさが大きく和らぎ、借入難易度（ $5.0 \rightarrow 4.3 \rightarrow 4.6$ ）は前期並の容易さで推移した。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 11.8$ 予想）は悪化傾向が大幅に弱まると見ている。売上額（ $\Delta 10.3$ 予想）と受注残（ $\Delta 16.5$ 予想）は減少傾向が幾分強まり、収益（ $\Delta 18.5$ 予想）は減益傾向がやや改善すると予想している。販売価格（ 23.4 予想）は上昇傾向が大きく強まり、原材料価格（ 62.1 予想）は上昇傾向が大幅に弱まると見ている。原材料在庫数量（ 6.7 予想）は過剰感が多少増すと予想している。

④ パルプ・紙、印刷、製本業

業況（ $\Delta 40.0 \rightarrow \Delta 37.5 \rightarrow \Delta 40.9$ ）は厳しさがやや増した。売上額（ $\Delta 42.9 \rightarrow \Delta 56.4 \rightarrow \Delta 44.9$ ）、受注残（ $\Delta 36.2 \rightarrow \Delta 43.1 \rightarrow \Delta 32.1$ ）、収益（ $\Delta 35.8 \rightarrow \Delta 37.4 \rightarrow \Delta 30.5$ ）は減少・減益傾向が大幅に改善された。

販売価格（ $\Delta 6.6 \rightarrow 4.0 \rightarrow \Delta 1.2$ ）は多少下降に転じ、原材料価格（ $17.6 \rightarrow 28.7 \rightarrow 37.0$ ）は大幅に上昇した。原材料在庫数量（ $\Delta 2.7 \rightarrow \Delta 9.5 \rightarrow \Delta 9.3$ ）は前期並の不足感が続いた。

資金繰り（ $\Delta 19.8 \rightarrow \Delta 20.4 \rightarrow \Delta 21.4$ ）は前期並の窮屈感で推移し、借入難易度（ $\Delta 10.6 \rightarrow \Delta 5.6 \rightarrow \Delta 5.9$ ）も前期同様の厳しさと推移した。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 46.6$ 予想）は悪化傾向がやや強まると見ている。売上額（ $\Delta 46.7$ 予想）は今期並の厳しさが続き、収益（ $\Delta 34.1$ 予想）は減益傾向が幾分強まると予想している。受注残（ $\Delta 17.7$ 予想）は大きく改善すると見込まれている。販売価格（ 10.8 予想）は大幅な上昇傾向で推移し、原材料価格（ 32.7 予想）は上昇傾向がやや弱まると見ている。原材料在庫数量（ $\Delta 8.2$ 予想）は今期並の不足感が続くと予想している。

⑤ 木材・木製品、家具・装備品

業況（△38.6→△42.0→△33.4）は悪化傾向が大幅に弱まった。売上額（△42.4→△50.3→△16.0）、受注残（△35.3→△51.6→△7.6）、収益（△40.2→△51.2→△11.6）は減少・減益傾向が非常に大きく改善された。

販売価格（1.8→△11.8→3.4）は大幅な上昇に転じ、原材料価格（7.9→31.7→37.6）は多少上昇し厳しさが強まった。原材料在庫数量（△12.8→△2.3→△1.7）は不足感が解消し適正範囲となった。

資金繰り（△23.8→△16.5→△2.2）は窮屈感が大きく緩和し、借入難易度（△16.7→△8.3→△8.4）は前期並の厳しさが続いた。

来期の見通しは、業況（△37.0 予想）は悪化傾向が多少強まると見られており、売上額（△14.7 予想）は今期並みの水準で推移し、受注残（0.3 予想）と収益（△0.7 予想）は減少・減益傾向が大幅に改善されると予想している。販売価格（10.0 予想）は更に上昇し良好感を強め、原材料価格（34.0 予想）は多少下降し厳しさが和らぐと予想している。原材料在庫数量（5.7 予想）は過剰感が大きく出てくると予想している。

⑥ 繊維工業、衣服・その他の繊維製品

業況（△23.8→△58.9→△42.1）は厳しさが続くものの悪化傾向が大きく弱まった。売上額（△23.5→△68.9→△41.4）は減少幅が極端に縮小し、受注残（△29.1→△68.3→△49.0）、収益（△26.3→△65.8→△52.9）も減少・減益傾向が大きく和らいだ。

販売価格（2.2→7.1→△1.2）は上昇傾向から下降に転じ、原材料価格（28.8→32.2→49.1）は大きく上昇し厳しさを強めた。原材料在庫数量（9.2→△18.4→△17.6）は前期並の不足感で推移した。

資金繰り（△4.3→△30.0→△15.5）は大きく改善したが、借入難易度（△30.0→△25.0→△36.4）は大幅に厳しさが増した。

来期の見通しは、業況（△53.0 予想）は悪化傾向が大幅に強まると見ている。売上額（△28.0 予想）、受注残（△36.0 予想）、収益（△39.5 予想）は減少・減益傾向が大幅に改善すると予想されている。販売価格（18.8 予想）は非常に大きく上昇し良好感を強め、原材料価格（39.0 予想）は大きく下降し良好感が強まると見込まれている。原材料在庫数量（△15.8 予想）は今期並の不足感が続くとは予想している。

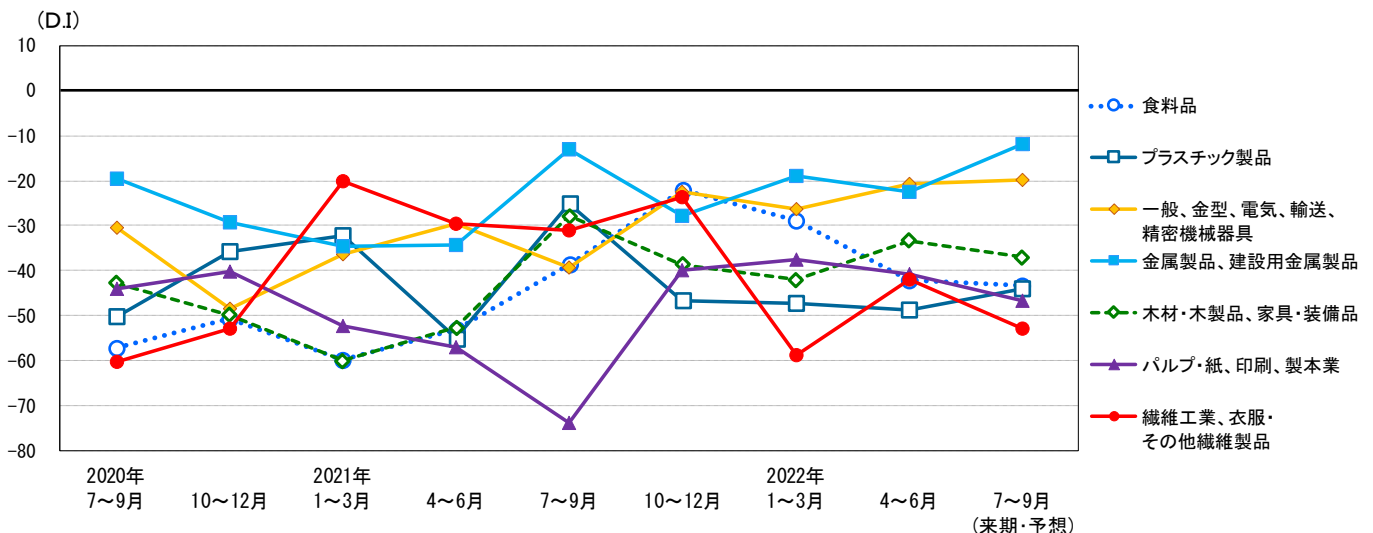
⑦ プラスチック製品

業況（△46.6→△47.2→△48.7）は厳しい状況ながら前期並の悪化幅で推移した。売上額（△45.2→△47.8→△18.9）、受注残（△44.6→△53.4→△24.1）、収益（△42.1→△47.8→△25.9）は減少・減益傾向が非常に大きく改善した。

販売価格（5.1→4.7→8.9）は良好感を持って多少上昇したが、原材料価格（31.3→44.6→64.0）は更に上昇が強まり厳しさが極端に増した。原材料在庫数量（4.3→△2.3→9.5）は不足感が解消され、過剰感が大幅に増した。

資金繰り（△0.9→△5.8→7.9）は窮屈感を脱して大幅に易化したが、借入難易度（0.0→△13.3→△15.4）は幾分下降し厳しくなった。

来期の見通しは、業況（△43.9 予想）は悪化傾向が多少弱まると見込まれている。売上額（△26.1 予想）、受注残（△33.5 予想）、収益（△32.4 予想）は減少・減益傾向が大きく強まると予想している。販売価格（6.4 予想）はわずかに下降し良好感を弱め、原材料価格（66.0 予想）はやや上昇すると見込まれている。原材料在庫数量（6.6 予想）は過剰感が多少緩和すると予想している。



小 売 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（△35.1→△29.5→△22.3）は悪化傾向が大きく弱まった。

売上額（△28.0→△20.7→△10.8）と収益（△27.4→△24.0→△15.8）は減少・減益傾向が大幅に改善した。

来期の見通しについて、業況（△24.7予想）は悪化傾向がわずかに強まり、売上額（△11.7予想）と収益（△17.2予想）は今期同様の水準で推移すると予想している。

（２）販売価格、仕入価格、在庫数量

販売価格（△3.7→△2.6→12.6）は上昇幅が大きく拡大したが、仕入価格（10.6→11.1→23.4）も大幅に上昇し厳しさが増した。

在庫数量（△4.4→△0.1→△0.4）は前期同様、適正水準を保った。

来期の見通しについて、販売価格（11.0予想）と仕入価格（22.7予想）は今期同様の水準で推移すると見ている。在庫数量（0.3予想）は適正範囲に保たれると予想している。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（△15.2→△8.7→△4.9）は窮屈感が幾分和らぎ、借入難易度（△8.2→△12.5→△5.2）は厳しさが大幅に和らいだ。

設備投資を「実施した」企業（5.5%→10.0%→8.6%）は前期から1.4ポイント減少した。

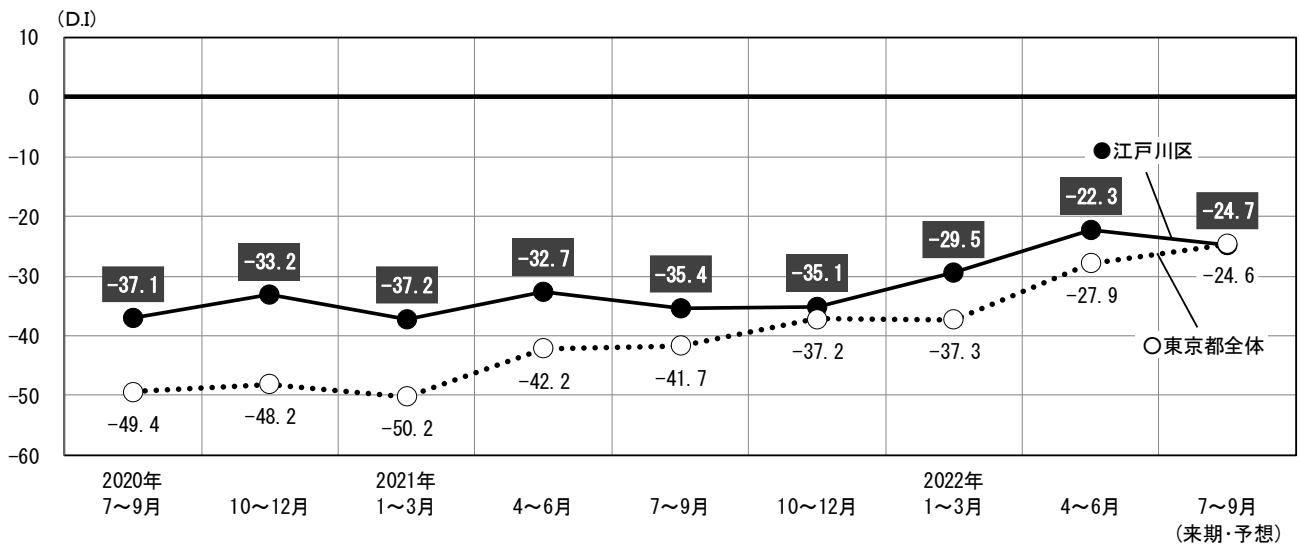
来期の見通しについて、資金繰り（△5.0予想）は今期同様の窮屈感で推移すると予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

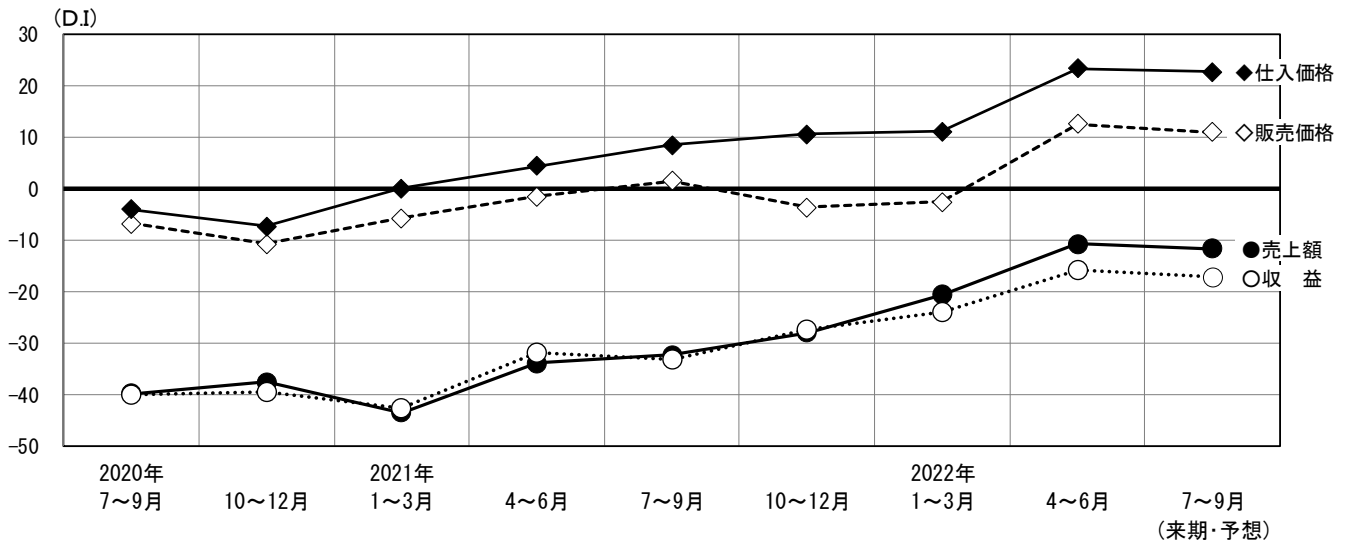
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（37.0%）が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」（20.5%）、「商店街の集客力の低下」（19.2%）、「大型店との競争の激化」（17.8%）、「仕入先からの値上げ要請」（13.7%）の順であった。

重点経営施策は、「経費を節減する」（37.0%）が今期も最多となった。以下、「品揃えを改善する」（26.0%）、「宣伝・広告を強化する」、「商店街事業を活性化させる」（各15.1%）「売れ筋商品を取り扱う」（13.7%）の順であった。

【小売業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

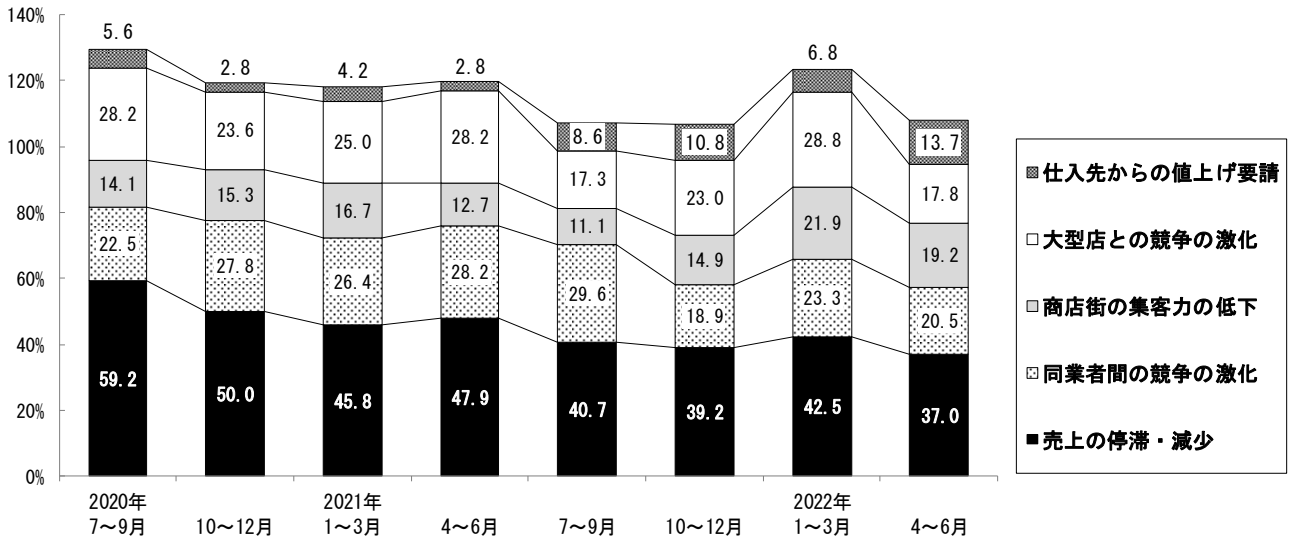


【小売業】 売上額・収益・販売価格・仕入価格の推移



【小売業】 経営上の問題点 (複数回答)

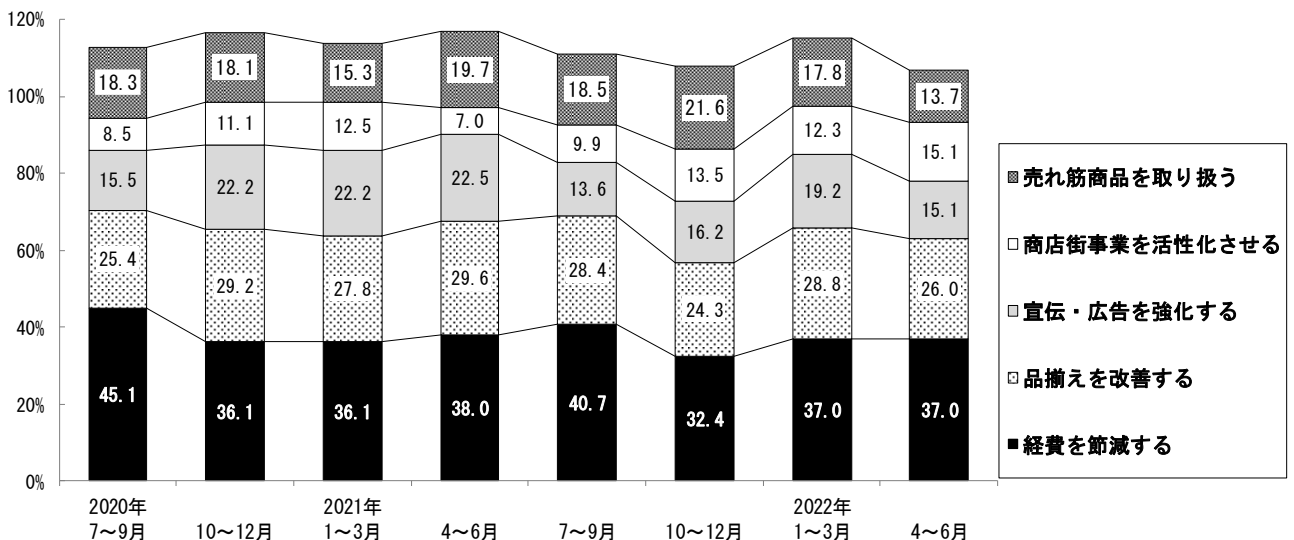
2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期		2022年4～6月期	
売上の停滞・減少	40.7%	売上の停滞・減少	39.2%	売上の停滞・減少	42.5%	売上の停滞・減少	37.0%
同業者間の競争の激化	29.6%	大型店との競争の激化	23.0%	大型店との競争の激化	28.8%	同業者間の競争の激化	20.5%
大型店との競争の激化	17.3%	同業者間の競争の激化	18.9%	同業者間の競争の激化	23.3%	商店街の集客力の低下	19.2%
商店街の集客力の低下	11.1%	商店街の集客力の低下	14.9%	商店街の集客力の低下	21.9%	大型店との競争の激化	17.8%
利幅の縮小		仕入先からの値上げ要請	10.8%	利幅の縮小	13.7%	仕入先からの値上げ要請	13.7%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

【小売業】 重点経営施策 (複数回答)

2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期		2022年4～6月期	
経費を節減する	40.7%	経費を節減する	32.4%	経費を節減する	37.0%	経費を節減する	37.0%
品揃えを改善する	28.4%	品揃えを改善する	24.3%	品揃えを改善する	28.8%	品揃えを改善する	26.0%
売れ筋商品を取り扱う	18.5%	売れ筋商品を取り扱う	21.6%	宣伝・広告を強化する	19.2%	宣伝・広告を強化する	15.1%
宣伝・広告を強化する	13.6%	宣伝・広告を強化する	16.2%	売れ筋商品を取り扱う	17.8%	商店街事業を活性化させる	15.1%
商店街事業を活性化させる	9.9%	商店街事業を活性化させる	13.5%	商店街事業を活性化させる	12.3%	売れ筋商品を取り扱う	13.7%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

小売業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

① 家具・じゅう器、家電・家庭用機械

業況（△22.7→△36.9→△37.9）は前期並の水準で厳しさが続き、売上額（△22.0→△34.0→△35.5）と収益（△34.2→△35.4→△36.5）も前期並の減少・減益幅で推移した。

販売価格（△9.4→△23.7→△0.6）は厳しさが非常に大きく緩和したが、仕入価格（1.2→△22.0→△2.0）は好感感が極端に弱まった。在庫数量（△21.4→△24.8→△32.0）は品薄感が大きく強まった。

資金繰り（△26.3→△21.5→△33.7）は窮屈感が大幅に増したが、借入難易度（△16.7→△20.0→△16.7）は厳しさが幾分和らいだ。

来期の見通しは、業況（△41.0 予想）は悪化傾向が多少強まると予想している。売上額（△41.8 予想）と収益（△43.1 予想）は減少・減益傾向が大幅に強まると見ている。販売価格（△2.1 予想）は今期同様の水準で推移し、仕入価格（9.5 予想）は大きく上昇すると予想している。在庫数量（△24.0 予想）は不足感が大きく和らぐと見込まれている。

② 飲食料品

業況（△51.7→△35.6→△34.0）は前期並の悪化幅で推移した。売上額（△41.4→△26.9→△24.7）は減少傾向が多少弱まり、収益（△42.7→△33.4→△23.0）は減益傾向が大幅に改善した。

販売価格（△12.5→△10.0→4.8）は上昇に転じて大幅に改善したが、仕入価格（3.4→14.2→21.2）も上昇傾向が大きく強まり厳しさが増した。在庫数量（9.0→0.5→6.5）は過剰感が大きく強まった。

資金繰り（△15.4→△16.5→△11.9）は窮屈感が多少緩和し、借入難易度（△13.7→△28.6→△14.3）も苦しさが大きく和らいだ。

来期の見通しは、業況（△32.4 予想）は今期同様の水準が続くと見ている。売上額（△17.2 予想）は減少傾向が大幅に弱まり、収益（△18.8 予想）も減益傾向が幾分弱まると予想している。販売価格（4.7 予想）は今期並の水準で推移し、仕入価格（19.1 予想）は幾分下降して厳しさが和らぐと予想している。在庫数量（3.4 予想）は今期同様の過剰感が続くと思われている。

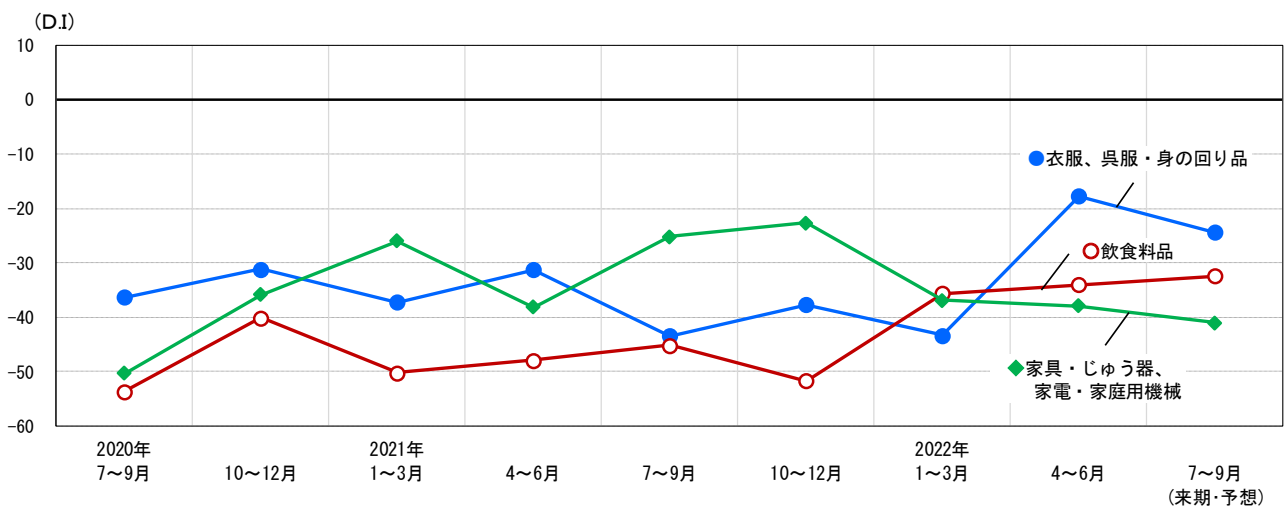
③ 衣服、呉服、身の回り品

業況（△37.7→△43.3→△17.8）は悪化傾向が極端に弱まった。売上額（△20.9→△33.6→△2.4）と収益（△19.4→△33.4→△11.6）も減少・減益傾向が非常に大きく改善した。

販売価格（△11.9→△10.9→△0.4）は大きく改善したが、仕入価格（△10.6→△11.7→△0.8）は好感感が大きく弱まった。在庫数量（△11.3→△11.4→△9.9）は前期並の品薄感が続いた。

資金繰り（△11.5→△12.0→△14.3）は窮屈感が幾分強まったが、借入難易度（△25.0→△28.6→△16.7）は苦しさが大きく緩和した。

来期の見通しは、業況（△24.4 予想）は悪化傾向が大幅に強まると見ており、売上額（△26.3 予想）と収益（△34.5 予想）も減少・減益傾向が極端に強まると予想している。販売価格（△2.2 予想）と仕入価格（△2.0 予想）は今期同様の水準で推移すると予想しており、在庫数量（△10.1 予想）も今期並の品薄感で推移すると見込まれている。



サービス業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（ $\Delta 27.7 \rightarrow \Delta 32.2 \rightarrow \Delta 25.0$ ）は悪化傾向が大きく改善した。

売上額（ $\Delta 19.5 \rightarrow \Delta 24.9 \rightarrow \Delta 13.1$ ）は減少傾向が大幅に改善され、収益（ $\Delta 25.3 \rightarrow \Delta 27.8 \rightarrow \Delta 22.8$ ）も減益傾向が幾分弱まった。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 23.9$ 予想）は今期同様の水準で推移すると見ている。売上額（ $\Delta 12.7$ 予想）と収益（ $\Delta 23.3$ 予想）は今期並の減少・減益傾向が続くと予想している。

（２）料金価格、材料価格

料金価格（ $\Delta 0.1 \rightarrow 7.0 \rightarrow 10.3$ ）は上昇が多少強まったが、材料価格（ $21.7 \rightarrow 34.0 \rightarrow 42.1$ ）は大幅に上昇し厳しさが増した。

来期の見通しについて、料金価格（ 15.9 予想）は幾分上昇して推移するが、材料価格（ 42.3 予想）は変化なく厳しい状態が続くと予想している。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ $\Delta 18.4 \rightarrow \Delta 11.9 \rightarrow \Delta 10.0$ ）は前期並の窮屈感で推移したが、借入難易度（ $\Delta 2.3 \rightarrow \Delta 9.3 \rightarrow \Delta 4.8$ ）は厳しさが多少和らいだ。

設備投資を「実施した」企業（ $19.3\% \rightarrow 5.2\% \rightarrow 17.6\%$ ）は、前期から12.4ポイント増加した。

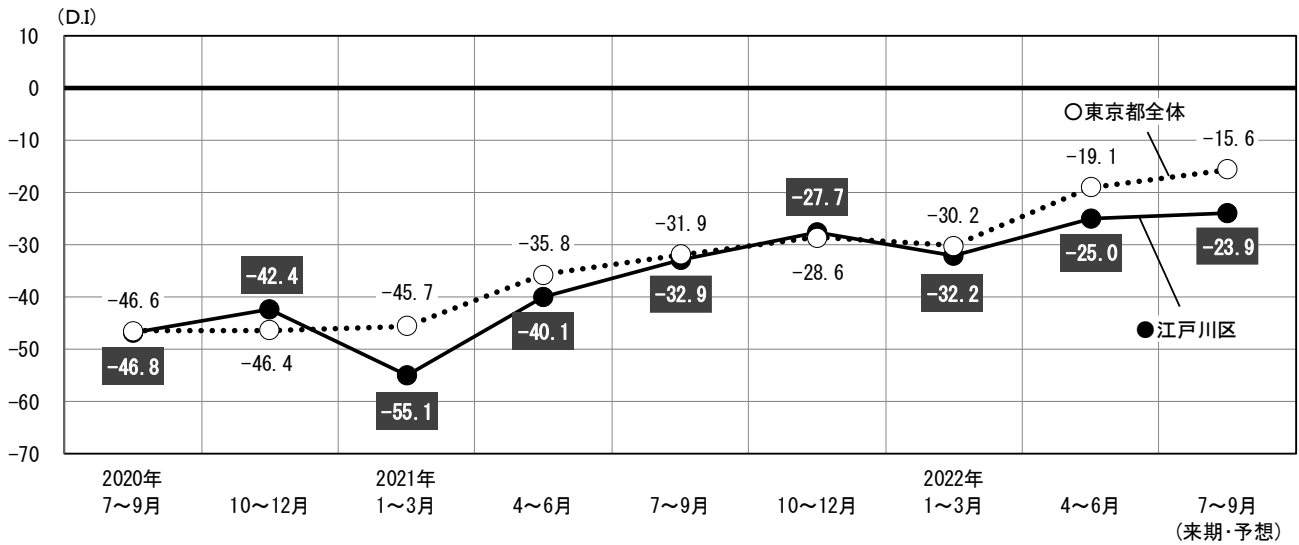
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 8.3$ 予想）は今期並の窮屈感で推移すると予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

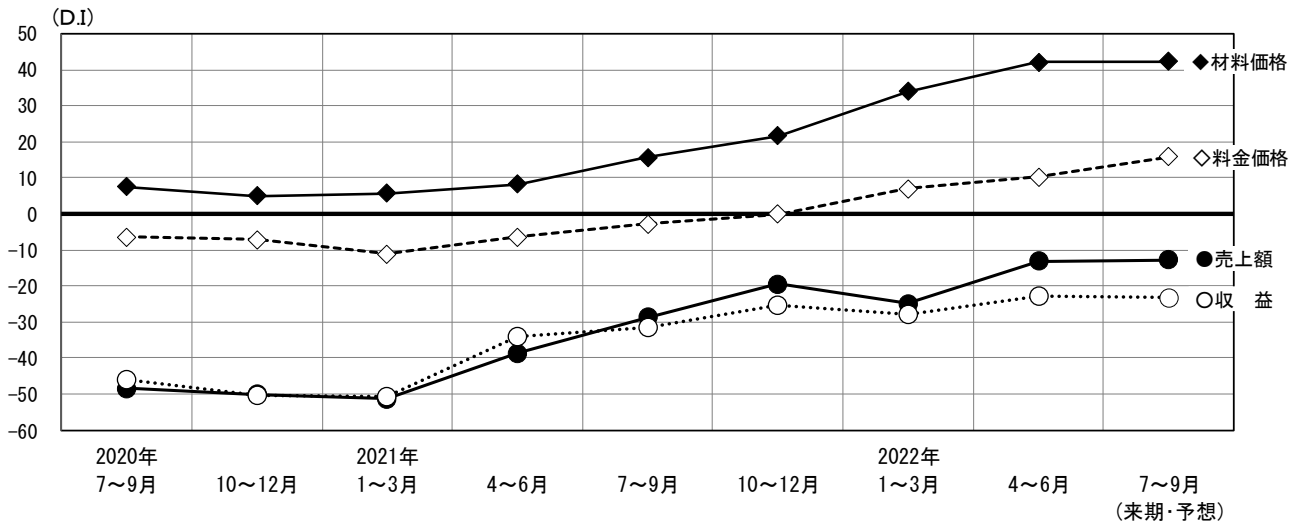
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（ 49.1% ）が今期も最多となった。以下、「材料価格の上昇」（ 32.1% ）、「同業者間の競争の激化」（ 22.6% ）、「人手不足」（ 17.0% ）、「利幅の縮小」（ 15.1% ）の順であった。

重点経営施策では、「経費を節減する」（ 52.8% ）が今期も最多となった。以下、「販路を広げる」（ 28.3% ）、「宣伝・広告を強化する」（ 17.0% ）、「技術力を強化する」、「人材を確保する」（各 15.1% ）の順であった。

【サービス業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

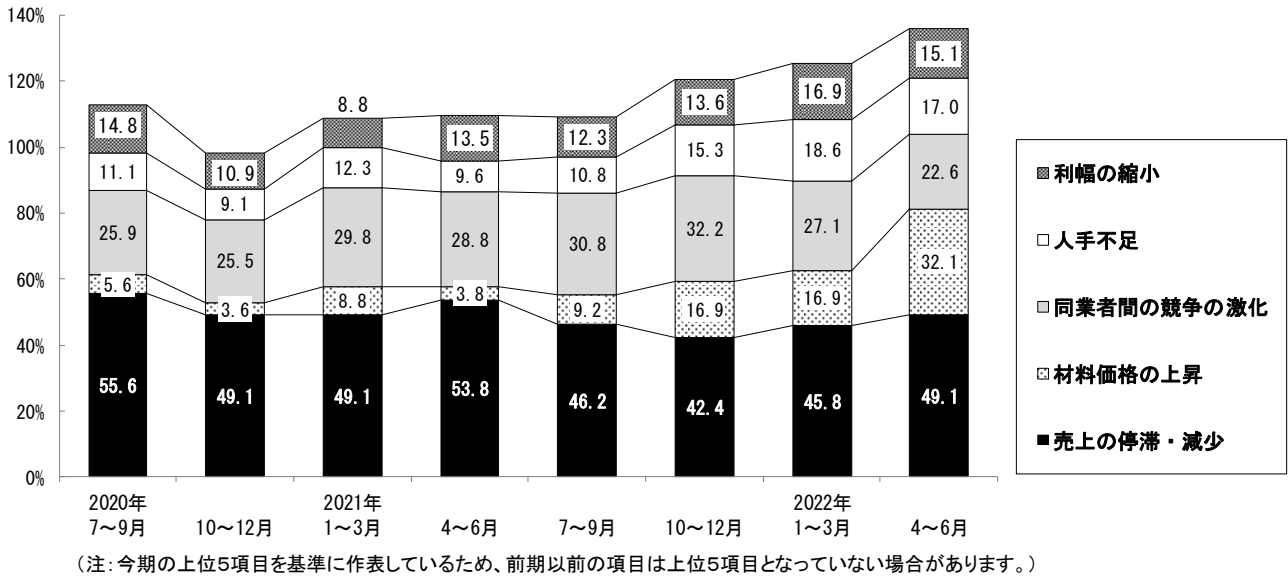


【サービス業】 売上額・収益・料金・材料価格の推移



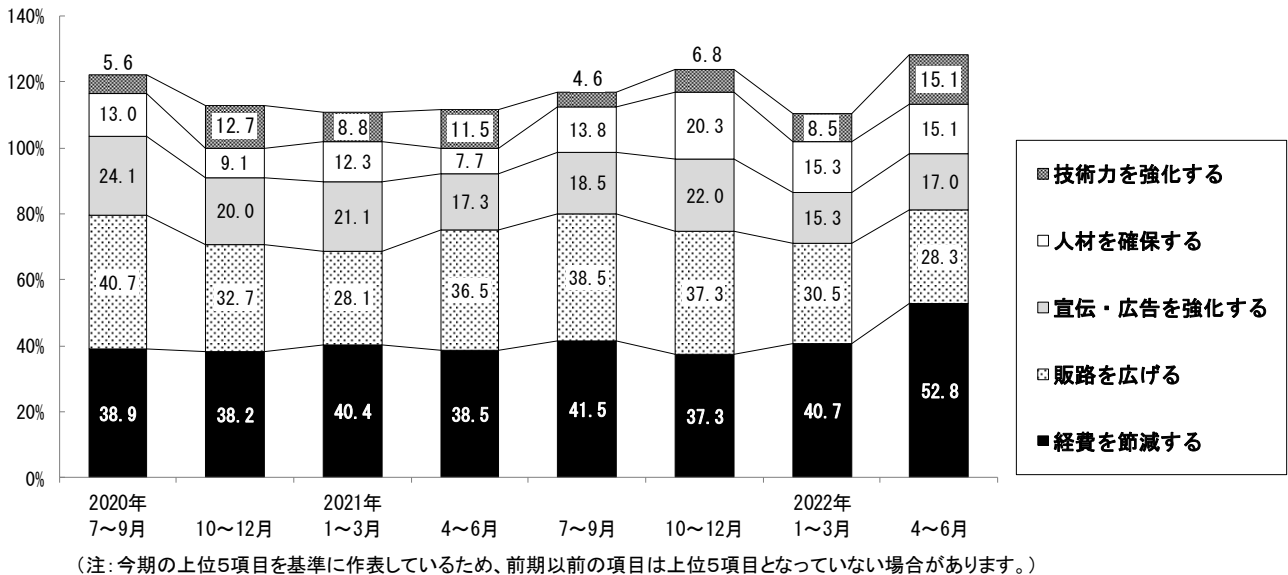
【サービス業】 経営上の問題点 (複数回答)

2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期		2022年4～6月期	
売上の停滞・減少	46.2%	売上の停滞・減少	42.4%	売上の停滞・減少	45.8%	売上の停滞・減少	49.1%
同業者間の競争の激化	30.8%	同業者間の競争の激化	32.2%	同業者間の競争の激化	27.1%	材料価格の上昇	32.1%
利幅の縮小	12.3%	材料価格の上昇	16.9%	人手不足	18.6%	同業者間の競争の激化	22.6%
人手不足	10.8%	人手不足	15.3%	利幅の縮小	16.9%	人手不足	17.0%
取引先の減少 材料価格の上昇	9.2%	利幅の縮小	13.6%	材料価格の上昇		利幅の縮小	15.1%



【サービス業】 重点経営施策 (複数回答)

2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期		2022年4～6月期	
経費を節減する	41.5%	経費を節減する	37.3%	経費を節減する	40.7%	経費を節減する	52.8%
販路を広げる	38.5%	販路を広げる	22.0%	販路を広げる	30.5%	販路を広げる	28.3%
宣伝・広告を強化する	18.5%	宣伝・広告を強化する	20.3%	宣伝・広告を強化する	15.3%	宣伝・広告を強化する	17.0%
人材を確保する	13.8%	人材を確保する	10.2%	人材を確保する	8.5%	人材を確保する	15.1%
教育訓練を強化する	7.7%	教育訓練を強化する	10.2%	技術力を強化する		技術力を強化する	



建設業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、受注残、施工高、収益

業況（ $\Delta 27.0 \rightarrow \Delta 20.6 \rightarrow \Delta 29.0$ ）は悪化傾向が大きく強まった。

売上額（ $\Delta 16.6 \rightarrow \Delta 17.7 \rightarrow \Delta 26.2$ ）、受注残（ $\Delta 14.4 \rightarrow \Delta 21.1 \rightarrow \Delta 35.3$ ）、施工高（ $\Delta 15.9 \rightarrow \Delta 7.7 \rightarrow \Delta 23.1$ ）、収益（ $\Delta 38.8 \rightarrow \Delta 30.5 \rightarrow \Delta 36.7$ ）は減少・減益傾向が大幅に強まった。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 19.3$ 予想）はかなり持ち直し、売上額（ $\Delta 22.1$ 予想）と収益（ $\Delta 32.6$ 予想）は減少・減益傾向が幾分改善し、受注残（ $\Delta 24.7$ 予想）と施工高（ $\Delta 14.5$ 予想）は減少傾向が大幅に改善すると予想している。

（２）請負価格、材料価格、在庫数量

請負価格（ $\Delta 11.4 \rightarrow \Delta 9.4 \rightarrow \Delta 10.3$ ）は前期並の厳しさを推移し、材料価格（ $59.5 \rightarrow 62.8 \rightarrow 58.0$ ）は幾分下降したものの非常に厳しい状況であることに変わりない。

在庫数量（ $\Delta 6.2 \rightarrow \Delta 8.8 \rightarrow \Delta 8.2$ ）は前期並の不足感で推移した。

来期の見通しについて、請負価格（ $\Delta 6.9$ 予想）は下降傾向が多少弱まるが、材料価格（ 60.1 予想）は幾分上昇し、依然厳しい水準が続くと予想している。在庫数量（ $\Delta 7.0$ 予想）は今期並の品薄感が続くとしている。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ $\Delta 12.1 \rightarrow \Delta 12.3 \rightarrow \Delta 20.7$ ）は窮屈感が大幅に増し、借入難易度（ $2.2 \rightarrow \Delta 4.6 \rightarrow \Delta 4.4$ ）は前期並の厳しさとなった。

設備投資を「実施した」企業（ $16.7\% \rightarrow 14.0\% \rightarrow 29.6\%$ ）は前期から15.6ポイント増加した。

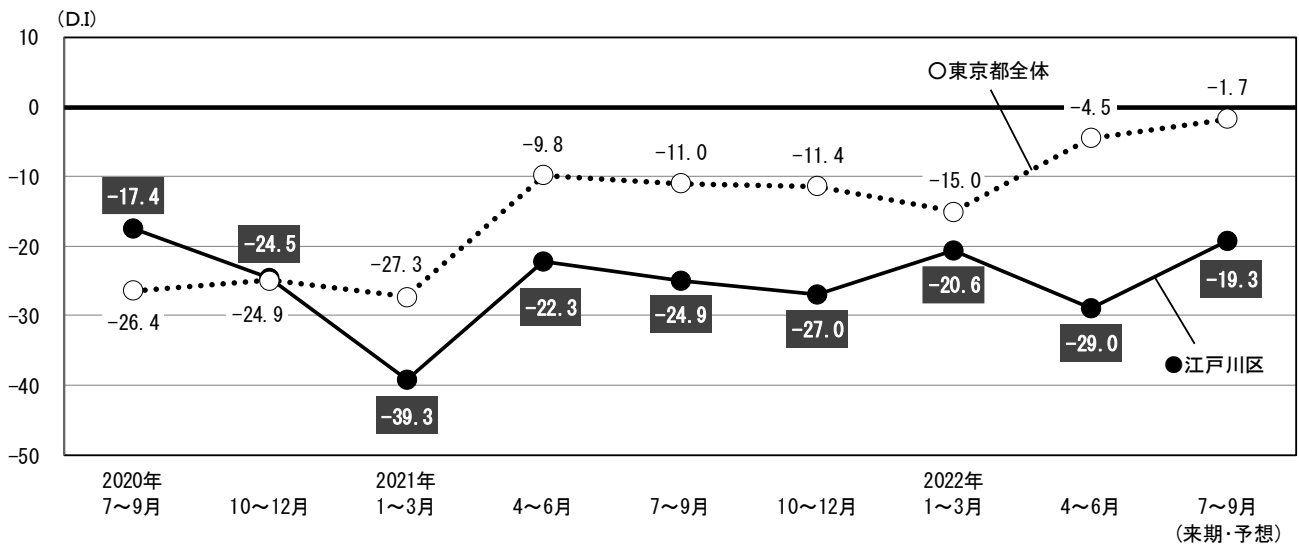
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 16.5$ 予想）の厳しさは多少和らぐと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

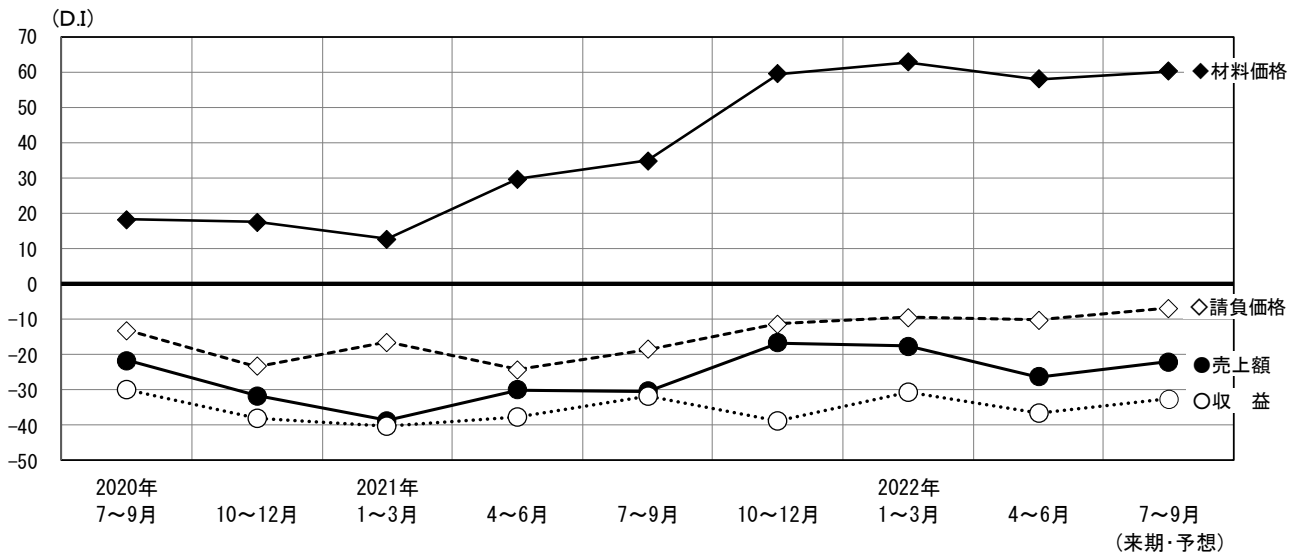
経営上の問題点は、「材料価格の上昇」（60.7%）が3期連続で最多となった。以下、「売上の停滞・減少」（50.0%）、「人手不足」（26.8%）、「利幅の縮小」（23.2%）、「同業者間の競争の激化」（21.4%）の順であった。

重点経営施策では、「経費を節減する」（50.0%）が今期も最多となった。以下、「販路を広げる」（37.5%）、「人材を確保する」（33.9%）、「技術力を高める」（30.4%）、「情報力を強化する」（19.6%）の順であった。

【建設業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）



【建設業】 売上額、収益、請負価格、材料価格の推移

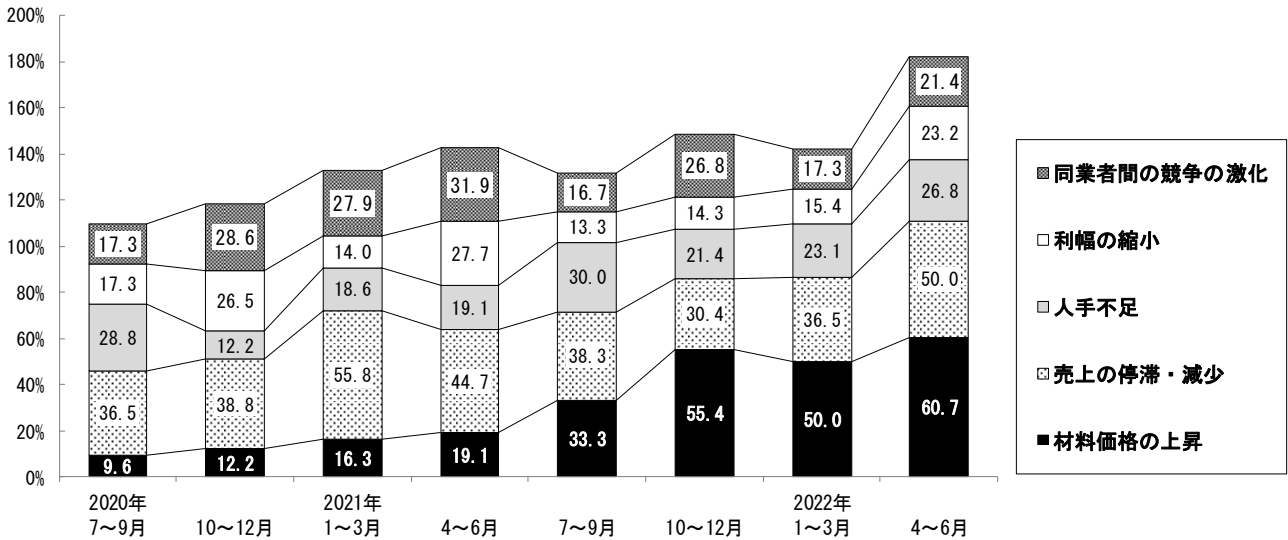


【建設業】

経営上の問題点

(複数回答)

2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期		2022年4～6月期	
売上の停滞・減少	38.3%	材料価格の上昇	55.4%	材料価格の上昇	50.0%	材料価格の上昇	60.7%
材料価格の上昇	33.3%	売上の停滞・減少	30.4%	売上の停滞・減少	36.5%	売上の停滞・減少	50.0%
人手不足	30.0%	同業者間の競争の激化	26.8%	人手不足	23.1%	人手不足	26.8%
同業者間の競争の激化	16.7%	人手不足	21.4%	同業者間の競争の激化	17.3%	利幅の縮小	23.2%
利幅の縮小	13.3%	利幅の縮小 技術力の不足	14.3%	利幅の縮小	15.4%	同業者間の競争の激化	21.4%



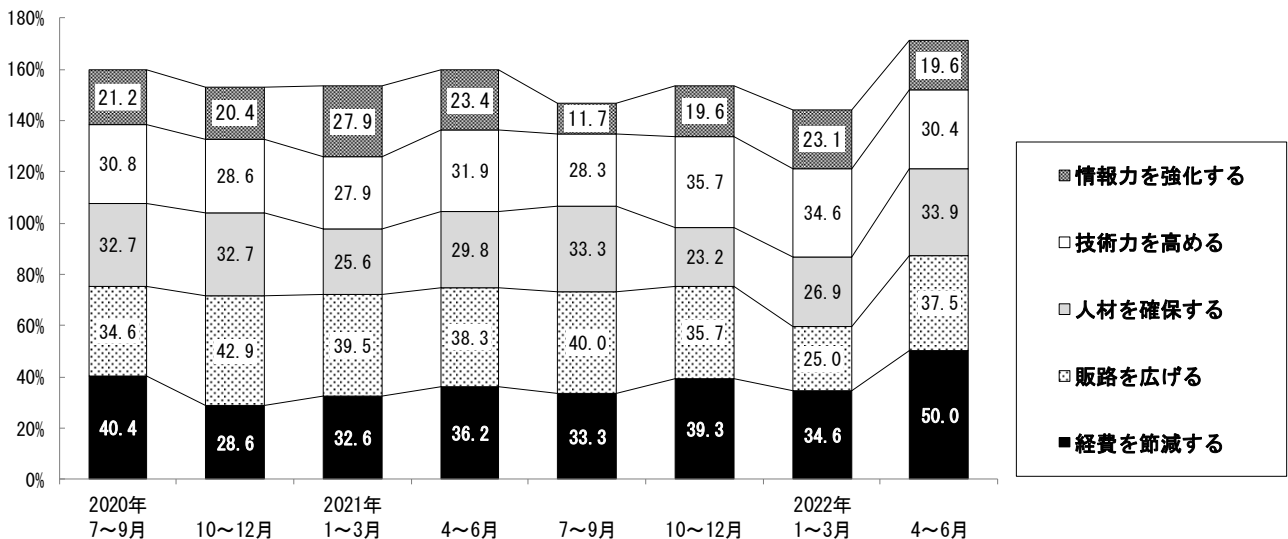
(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

【建設業】

重点経営施策

(複数回答)

2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期		2022年4～6月期	
販路を広げる	40.0%	経費を節減する	39.3%	経費を節減する	34.6%	経費を節減する	50.0%
経費を節減する	33.3%	販路を広げる	35.7%	技術力を高める		販路を広げる	37.5%
人材を確保する		技術力を高める		人材を確保する	26.9%	人材を確保する	33.9%
技術力を高める	28.3%	人材を確保する	23.2%	販路を広げる	25.0%	技術力を高める	30.4%
情報力を強化する	11.7%	情報力を強化する	19.6%	情報力を強化する	23.1%	情報力を強化する	19.6%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

調査員のコメント

- ・江戸川区分の該当はなし

出典：『景況情報ガイド』都内中小企業景況調査結果 2022年4月～6月期より江戸川区分を抜粋

江戸川区独自の調査から

[景況全般について]

- ・一人で仕事をしているが、直近はまとまって仕事が決まったため少し忙しい状況。この仕事が終わるとまた仕事なくなるのではないかと危惧している。やはり原材料がかなり上がってきている。(製造業)
- ・前期間からあまり改善は見られていない。(製造業)
- ・4月、5月は同行が鈍化していたが、6月以降客足が伸び、地方のお客様も増えつつある。(小売業)
- ・制限が解除されても、あまり変化は見られない。ただし、紹介での客数が増えてきている。(サービス業)

[受注・売上・単価・仕事量等について]

- ・宣伝広告関連の仕事のため、もともと月々安定した売り上げがある業界ではなく、クライアントの景況の状況に左右される。4月はたまたま展示会のまとまった仕事があったが、5、6月は静かな状況だった。取引先の工場も嘆いている状態で、クライアントの収益が上がり、宣伝広告費の予算がアップすることを願っている。(製造業)
- ・コロナ以降、大きな売上の減少が続いていたが、5月、6月と2カ月連続で前年同月対比で微増となって下げ止まり傾向がみられた。しかし、コロナ禍前の売上（来客数）の回復は当面は困難と判断し、引き続き雇用調整助成金に助けられながらもまずは従業員の感染防止策を優先した時短営業、週休3日（内休業1日）を常態化させることに取り組んでいる。(サービス業)

[経営上の課題]

- ・製造業には働き手が来ないのだろうか。会社として業績は安定している。給与的にも決して低くはないと思うが、働く人が少ない。若年労働者の働く、仕事への意識が違ってきていると感じる。(製造業)
- ・求人は、ハローワークからの応募が最近多くなり人手不足が解消しつつある。ただ応募者の年齢が40歳前後に集中しているのが難点となっている。業況は、部品やポンプの入手が困難となっており、発注が受けられない状況となっている。このため、工事施工が出来ず、大幅な売り上げ減となっている。コロナ対策として借り入れた融資の返済も始まり、非常に厳しい状況となってきた。(建設業)
- ・今期はコロナの影響で延期、中止されていた物件が復活し、特に大型物件が多く収益も改善され近年にない良い状況だが、相も変わらずの人手不足と物不足で思うような進捗状況にはない。衣食住全てにおいて外国依存度が高すぎている。新規電気工事だけでなく電気設備の保守点検も行えるよう機材、知識の整備を進めている。(建設業)

[経営改善等に向けての取り組み]

- ・材料が高騰しているため、必要以外の在庫は持たないようにしている。(製造業)
- ・市場縮小が顕となり、更なる経費の削減等で対応している。(サービス業)
- ・昨年と工事量・単価も同じだが、物価上昇を受けて少人数の従業員に少しだけ支払う単価アップを行った。(サービス業)
- ・ホームページを充実し、多くの方の目に触れる機会を作っている。(サービス業)

江戸川区の企業倒産動向

（2022年4月～6月）

2022年4～6月期の江戸川区の倒産件数は、前期比14.3%増の8件（前期7件）、負債総額は前期比174.3%増の10億4百万円（前期3億66百万円）であった。業種別にみると、件数では“建設業”が3件、“製造業”“卸売業”“小売業”“サービス業”“宿泊業、飲食サービス業”が各1件であった。負債総額は“製造業”が6億52百万円、“建設業”が1億70百万円、“サービス業”が90百万円であった。

江戸川区の業種別倒産動向

（単位：件・百万円）

	前年同期 2021年4～6月		前期 2022年1～3月		今期 2022年4～6月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	0	0	1	90	1	652
卸売業	1	23	1	10	1	50
小売業	1	10	0	0	1	20
サービス業	3	146	0	0	1	90
建設業	6	184	2	215	3	170
不動産業	0	0	0	0	0	0
情報通信業・運輸業	1	30	2	41	0	0
宿泊業、飲食サービス業	1	200	0	0	1	22
その他	1	10	1	10	0	0
合計	14	603	7	366	8	1,004

東京都の企業倒産動向

（2022年4月～6月）

2022年4～6月期の東京都の倒産件数は、前期比9.9%増の289件（前期263件）、負債総額は前期比49.9%減の409億円（前期816億円）であった。業種別にみると、件数では“サービス業”が77件と9期連続で最も多く、次いで“卸売業”が50件であった。負債総額は“サービス業”が176億円で最も多く、次いで、“卸売業”が90億円、“製造業”が34億円と続いた。

1. 概況

（単位：件・億円）

	前年同期 2021年 4～6月	前期 2022年 1～3月	今期 2022年 4～6月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	件数	306	263	289	9.9%
負債総額	1,555	816	409	-49.9%	-73.7%

2. 原因別倒産動向

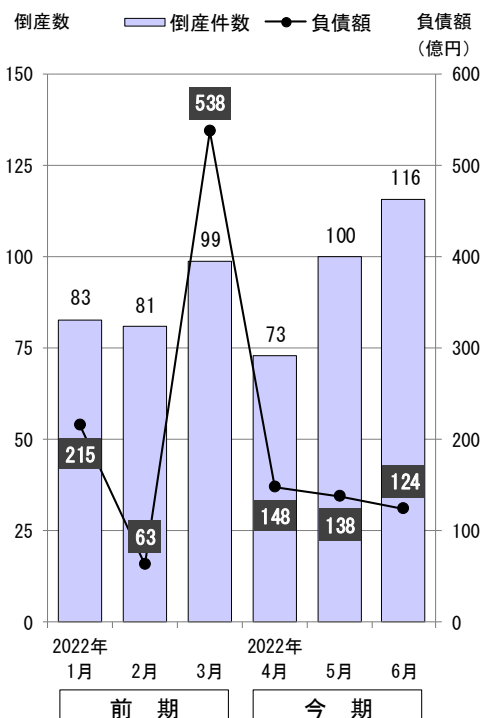
（単位：件）

	前年同期 2021年 4～6月	前期 2022年 1～3月	今期 2022年 4～6月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	販売不振	214	183	200	9.3%
既往のしわ寄せ	45	23	26	13.0%	-42.2%
売掛金等回収難	1	2	3	50.0%	200.0%
(不況型計)	260	208	229	10.1%	-11.9%
放漫経営	20	23	16	-30.4%	-20.0%
過小資本	7	2	2	0.0%	-71.4%
他社倒産の余波	13	20	34	70.0%	161.5%
信用性低下	1	1	1	0.0%	0.0%
在庫状態悪化	0	0	0	-	-
設備投資過大	0	0	0	-	-
その他	5	9	7	-22.2%	40.0%
合計	306	263	289	9.9%	-5.6%

3. 業種別倒産動向

（単位：件・億円）

	前年同期 2021年4～6月		前期 2022年1～3月		今期 2022年4～6月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	23	115	12	71	21	34
卸売業	50	63	45	361	50	90
小売業	37	20	20	6	32	20
サービス業	56	174	64	88	77	176
建設業	39	40	28	25	31	29
不動産業	17	23	13	60	16	11
情報通信業・運輸業	35	87	42	28	26	10
宿泊業、飲食サービス業	30	1,027	29	170	20	8
その他	19	6	10	9	16	33
合計	306	1,555	263	816	289	409



※負債総額の各項目は四捨五入した値のため
合計と一致しない場合があります。

注1. 以下に示している割合は、今回の調査に協力いただいた中小企業（全373事業所）の回答割合であり、調査の対象となっている企業数が少ない「卸売業」（18社）と「不動産業」（23社）も含めています。

注2. 割合は小数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、単数回答の場合に合計が100%にならないこともあります。

本調査結果の特徴	①経済社会情勢について特に懸念しているもの	「原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰」38.9%、「エネルギー以外の価格高騰」33.8%、「コロナ長期化による需要急減」31.1%
	②エネルギー価格上昇による収益への影響、省エネに向けた設備投資実施予定	収益への影響 『悪影響がある』70.1%（うち「多少悪影響がある」56.3% 「かなり悪影響がある」12.4%） 省エネの設備投資 「実施予定がある」5.7% 「実施予定はない」91.9%
	③サイバー攻撃による被害状況、サイバーセキュリティ確保のための人材確保・態勢整備	サイバー攻撃による被害 『攻撃を受けたことがある』6.4%（うち「被害があった」0.5%） 人材の確保・態勢の整備 「できている」28.4% 「できていない」20.1%
	④ 賃上げ実施状況とその理由	『賃上げを実施した』21.8%（その理由「従業員の待遇改善」13.2% 「自社の業績改善を反映」4.8%） 『賃上げを実施しなかった』78.2%（その理由「自社の業績状況」と「賃上げを検討したことがない」ともに23.9%）
	⑤コロナ禍による事業承継（M&Aを含む）の考え方の変化	「事業承継の方法に変更はない」36.6%、「事業承継の検討を始めた」5.4%

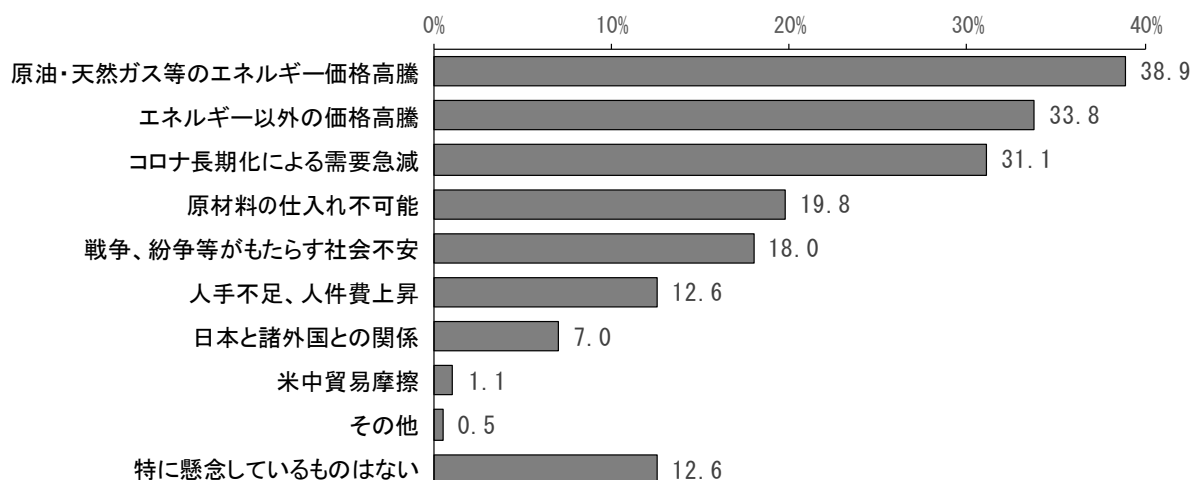
※上記表中の割合合計は、少数点以下四捨五入の影響により単数回答質問の場合は100%にならないこともあります。

問1. 経済社会情勢について特に懸念しているものについて

区内の中小企業を対象に経済社会情勢について特に懸念しているものについて伺った（最大3項目まで）。その結果、「原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰」との回答が38.9%と最も多く挙げられた。次いで、「エネルギー以外の価格高騰」が33.8%、「コロナ長期化による需要急減」31.1%が上位を占めた。一方、「特に懸念しているものはない」が12.6%の回答であった。

業業種別に見ると、建設業では「原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰」50.0%、「原材料の仕入れ不可能」31.5%、製造業で「エネルギー以外の価格高騰」41.7%と全業種平均を大きく上回る結果となった。

経済社会情勢について特に懸念しているもの（懸念は3つまで）

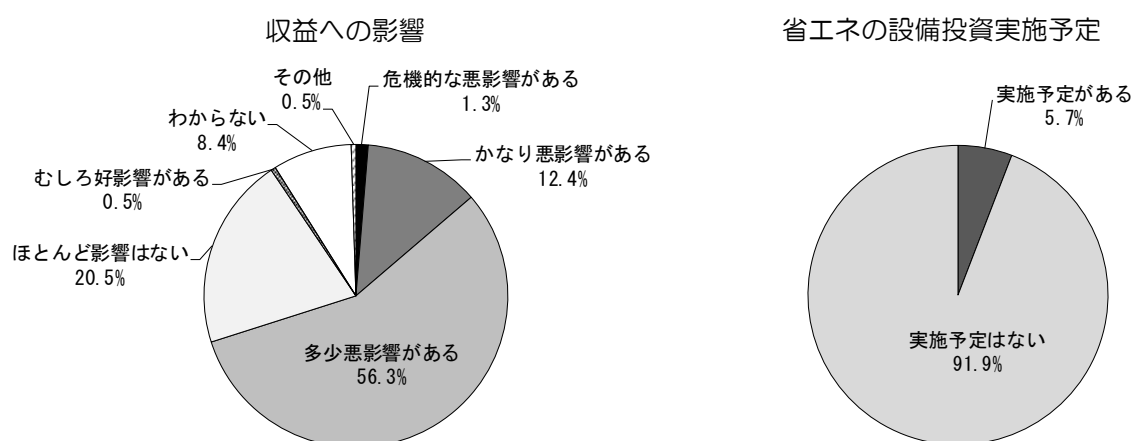


問2. エネルギー価格上昇による収益への影響、省エネに向けた設備投資実施予定について

次に、最近の原油・天然ガスなどのエネルギー価格の上昇が収益にどのような影響を与えているか。また、今後、省エネにつながる設備投資の実施予定について伺った。その結果、収益への影響について『悪影響がある』との回答が全体の70.1%であった。その内訳は、「多少悪影響がある」が56.3%、「かなり悪影響がある」は12.4%にのぼった。一方、「むしろ好影響がある」が0.5%、「ほとんど影響はない」は20.5%であった。

業種別に見ると、『悪影響がある』との回答が建設業81.5%、製造業73.5%となり、他業種と比較して、エネルギー価格の上昇が悪影響を与えている結果となった。

省エネに向けた設備投資の実施については「実施予定がある」が5.7%にとどまり、「実施予定はない」が91.9%と全体の約9割以上を占めた。

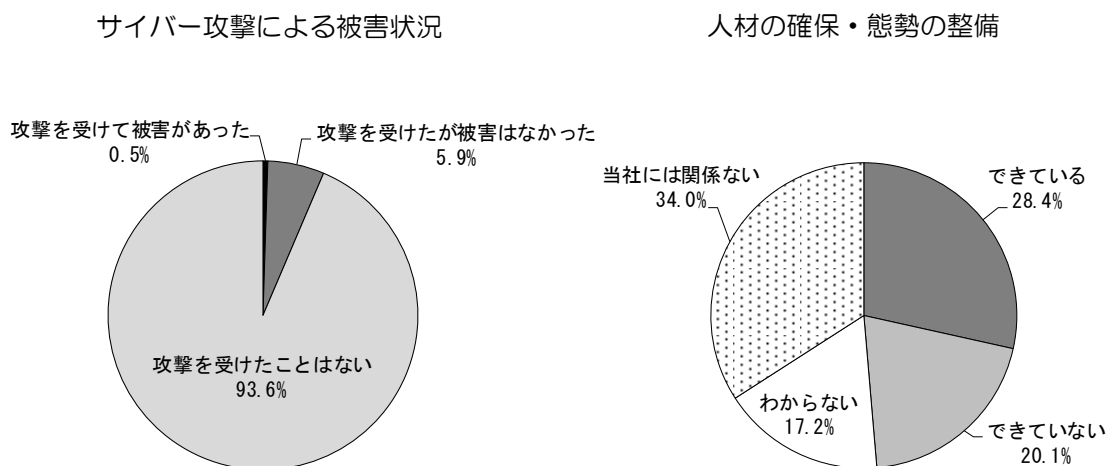


※回答により 100%にならないこともあります。

問3. サイバー攻撃による被害状況、サイバーセキュリティ確保のための人材確保・態勢整備について

昨今、サイバー攻撃による被害が数多く報告されているなかで、区内中小企業におけるサイバー攻撃による被害状況とサイバーセキュリティ確保のための人材確保・態勢整備について伺った。その結果、サイバー攻撃による被害について、『攻撃を受けたことがある』との回答は 6.4%で、このうち「攻撃を受けたが被害はなかった」は 5.9%、「攻撃を受けて被害があった」が 0.5%であった。大多数の企業は「攻撃を受けたことはない」との回答(93.6%)であった。

また、セキュリティ対策のための人材の確保・態勢の整備については、「できている」が全体の 28.4%にとどまった。一方、「できていない」20.1%、「当社には関係ない」が 34.0%となった。

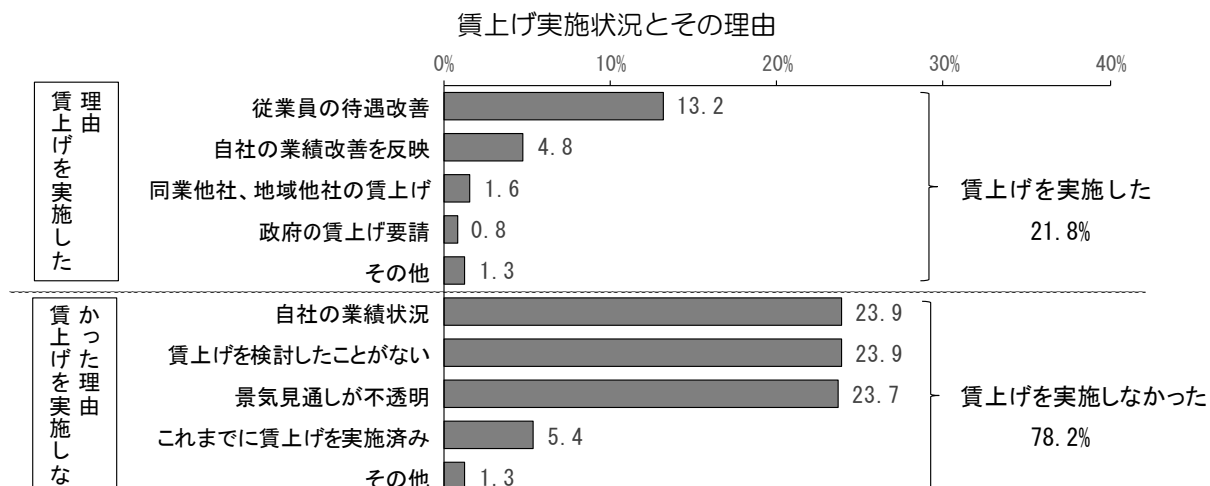


※回答により 100%にならないこともあります。

問4. 賃上げ実施状況とその理由について

物価上昇等混迷する経済社会情勢のなかでの今春の賃上げ実施状況とその理由について伺った。その結果、『賃上げを実施した』と回答した企業は21.8%であり、賃上げした理由は「従業員の待遇改善」13.2%、「自社の業績改善を反映」4.8%、「同業他社、地域他社の賃上げ」1.6%であった。一方、政府からは賃上げ要請がなされてはいるものの、今春『賃上げを実施しなかった』と回答した企業は78.2%を占めた。賃上げを実施しなかった理由として「これまでに賃上げを実施済み」とした企業は5.4%あったものの、「自社の業績状況」と「賃上げを検討したことがない」が同率23.9%、「景気見通しが不透明」23.7%がその理由となっていた。

業種別では、「従業員の待遇改善」が建設業で27.8%と多く、「賃上げを検討したことがない」は小売業で38.0%と多い結果となった。

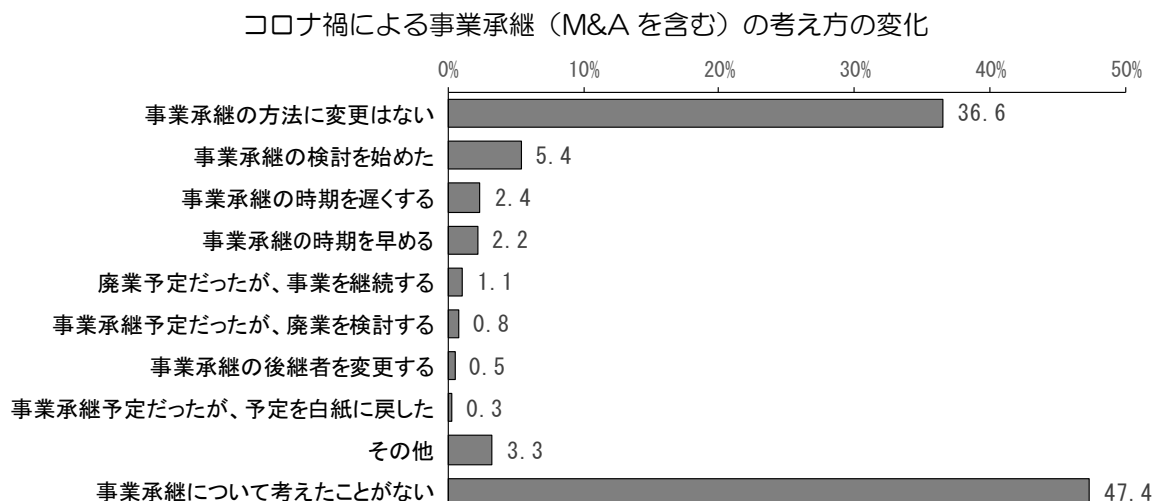


※回答により 100%にならないこともあります。

問5. コロナ禍による事業承継(M&Aを含む)の考え方の変化について

最後に、コロナ禍を受けて、事業承継(M&Aを含む)の考え方の変化について伺った。その結果、「事業承継の方法に変更はない」とする企業が36.6%となり、約1/3の企業ではコロナ禍であっても事業承継の考え方を変えてはいないとの結果となった。一方、「事業承継について考えたことがない」と回答した企業が47.4%と約半数あった。また、今まで検討していなかったがコロナ禍を契機に「事業承継の検討を始めた」と回答した企業は5.4%、事業承継の時期を「遅くする」と回答した企業は2.4%、「早める」と回答した企業は2.2%となった。そして、「廃業予定だったが、事業を継続する」が1.1%、「事業承継予定だったが、廃業を検討する」0.8%、「事業承継の後継者を変更する」0.5%、「事業承継予定だったが、予定を白紙に戻した」0.3%との結果となった。

業種別では、建設業において「事業承継の方法に変更はない」が56.6%となり、全業種平均を大幅に上回った。



		問1 経済社会情勢について特に懸念しているもの											問2 エネルギー価格上昇の収益影響と省エネ投資										
		『懸念しているものがある』											『悪影響がある』										
		原料・エネルギー以外の価格高騰	エネルギー以外の価格高騰	原材料の仕入れ不可能	減価・長期化による需要急	人手不足、人件費上昇	日本と諸外国との関係	米中貿易摩擦	戦争、紛争等がもたらす社	会不安	その他	特に懸念しているものはない	危惧的な悪影響がある	かなり悪影響がある	多少悪影響がある	ほとんど影響はない	むしろ好影響がある	わからない	その他	実施予定がある	実施予定はない		
業種	回答数	373	38.9	33.8	19.8	31.1	12.6	7.0	1.1	18.0	0.5	12.6	371	1.3	12.4	56.3	20.5	0.5	8.4	0.5	5.7	91.9	
製造業		156	41.0	41.7	25.6	28.8	10.3	6.4	1.3	14.7	0.6	10.3	155	1.3	11.0	61.3	15.5	1.3	9.0	0.6	4.5	94.2	
従業者規模	1人～4人	79	44.3	39.2	20.3	19.0	5.1	7.6	1.3	12.7	-	15.2	78	1.3	9.0	59.0	15.4	-	14.1	1.3	1.3	98.7	
	5人～9人	42	47.6	40.5	26.2	42.9	16.7	4.8	2.4	21.4	2.4	7.1	42	-	9.5	61.9	21.4	4.8	2.4	-	9.5	85.7	
	10人～19人	19	21.1	47.4	36.8	42.1	21.1	-	-	10.5	-	-	19	5.3	21.1	63.2	5.3	-	5.3	-	5.3	94.7	
	20人～29人	7	42.9	14.3	42.9	14.3	14.3	-	-	14.3	-	-	7	-	14.3	57.1	14.3	-	14.3	-	-	100.0	
	30人～39人	1	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	1	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	
	40人～49人	2	-	100.0	100.0	-	-	-	-	50.0	-	-	2	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	50人～99人	6	16.7	66.7	16.7	50.0	-	16.7	-	-	-	-	6	-	-	83.3	16.7	-	-	-	-	-	100.0
	100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	形態・立地	問屋・商社	9	33.3	44.4	22.2	33.3	11.1	-	11.1	11.1	-	11.1	9	-	-	66.7	-	11.1	22.2	-	-	88.9
大メーカー		16	43.8	37.5	31.3	25.0	12.5	6.3	-	25.0	-	12.5	16	-	6.3	68.8	12.5	-	12.5	-	-	100.0	
中小メーカー・仲間業者		93	44.1	44.1	21.5	23.7	9.7	6.5	1.1	16.1	1.1	8.6	92	1.1	10.9	64.1	17.4	1.1	5.4	-	5.4	93.5	
小売業者		22	40.9	31.8	27.3	36.4	9.1	4.5	-	13.6	-	13.6	22	4.5	18.2	54.5	18.2	-	4.5	-	9.1	90.9	
最終需要家		12	33.3	50.0	50.0	50.0	-	8.3	-	-	-	8.3	12	-	8.3	58.3	16.7	-	8.3	8.3	-	100.0	
業況	良い	10	50.0	50.0	10.0	20.0	20.0	30.0	-	30.0	10.0	20.0	10	-	20.0	50.0	30.0	-	-	-	20.0	80.0	
	普通	80	37.5	32.5	27.5	17.5	8.8	2.5	1.3	12.5	-	15.0	80	-	5.0	58.8	18.8	1.3	15.0	1.3	3.8	95.0	
	悪い	65	44.6	52.3	24.6	44.6	10.8	7.7	1.5	15.4	-	3.1	64	3.1	15.6	67.2	9.4	1.6	3.1	-	3.1	95.3	
小売業		71	31.0	22.5	11.3	38.0	7.0	7.0	-	16.9	-	16.9	70	-	8.6	55.7	25.7	-	8.6	1.4	4.3	94.3	
従業者規模	1人～4人	56	23.2	16.1	12.5	35.7	3.6	3.6	-	16.1	-	21.4	55	-	3.6	54.5	30.9	-	9.1	1.8	5.5	94.5	
	5人～9人	7	57.1	57.1	-	57.1	28.6	-	-	28.6	-	-	7	-	28.6	71.4	-	-	-	-	-	85.7	
	10人～19人	4	50.0	25.0	-	50.0	-	50.0	-	25.0	-	-	4	-	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-	100.0	
	20人～29人	2	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	2	-	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	
	30人～39人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40人～49人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	50人～99人	2	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	100.0	
	100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	形態・立地	駅周辺商店街	15	33.3	40.0	13.3	46.7	13.3	20.0	-	13.3	-	6.7	15	-	20.0	53.3	20.0	-	6.7	13.3	86.7	
住宅地隣接商店街		35	28.6	14.3	8.6	40.0	2.9	-	-	20.0	-	20.0	35	-	2.9	54.3	28.6	-	14.3	-	-	100.0	
団地内商店街		3	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	100.0	
その他		18	38.9	27.8	16.7	16.7	11.1	11.1	-	16.7	-	22.2	18	-	11.1	61.1	22.2	-	5.6	-	5.6	88.9	
業況		良い	5	20.0	40.0	-	20.0	-	-	-	20.0	-	40.0	5	-	-	40.0	40.0	-	20.0	-	-	100.0
普通	48	31.3	18.8	12.5	35.4	8.3	6.3	-	20.8	-	12.5	47	-	8.5	55.3	29.8	-	4.3	2.1	4.3	93.6		
悪い	18	33.3	27.8	11.1	50.0	5.6	11.1	-	5.6	-	22.2	18	-	11.1	61.1	11.1	-	16.7	-	5.6	94.4		
サービス業		51	37.3	25.5	5.9	37.3	19.6	7.8	-	11.8	2.0	15.7	51	3.9	17.6	41.2	25.5	-	11.8	-	11.8	82.4	
従業者規模	1人～4人	33	27.3	21.2	3.0	45.5	6.1	9.1	-	12.1	-	21.2	33	-	15.2	39.4	33.3	-	12.1	-	3.0	90.9	
	5人～9人	6	66.7	16.7	-	-	16.7	-	-	-	16.7	16.7	6	-	16.7	50.0	-	-	33.3	-	-	100.0	
	10人～19人	3	33.3	-	66.7	33.3	66.7	-	-	66.7	-	-	3	-	66.7	33.3	-	-	-	-	-	100.0	
	20人～29人	4	50.0	25.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	4	25.0	-	75.0	-	-	-	-	25.0	50.0	
	30人～39人	1	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	
	40人～49人	2	-	50.0	-	50.0	100.0	50.0	-	-	-	-	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-	
	50人～99人	2	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	100.0	-
	100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	形態・立地	官公庁	2	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	100.0
大企業		9	55.6	66.7	22.2	22.2	22.2	-	-	44.4	-	-	9	-	33.3	55.6	11.1	-	-	-	11.1	88.9	
中小企業		32	40.6	28.1	37.5	25.0	21.9	3.1	3.1	21.9	-	9.4	32	3.1	21.9	53.1	15.6	-	6.3	-	-	93.8	
個人		9	77.8	22.2	33.3	44.4	-	-	-	-	-	-	9	-	-	88.9	11.1	-	-	-	-	100.0	
業況		良い	2	100.0	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0
普通	31	45.2	32.3	29.0	16.1	22.6	-	3.2	9.7	-	6.5	31	-	19.4	58.1	16.1	-	6.5	-	3.2	96.8		
悪い	20	50.0	35.0	35.0	45.0	15.0	5.0	-	45.0	-	5.0	20	5.0	20.0	60.0	15.0	-	-	-	-	-	90.0	

		問3 サイバー攻撃の有無と人材の確保・態勢整備							問4 今春の賃上げ実施有無とその理由											
業種	回答数	『受けた』		攻撃を受けたことはない	できている	できていない	わからない	当社には関係ない	『賃上げを実施した』					『賃上げを実施しなかった』						
		攻撃を受けて被害があった	攻撃を受けたが被害はなかった						政府の賃上げ要請	自社の業績改善を反映	同業他社、地域他社の賃上げ	従業員の待遇改善	その他	み	これまでに賃上げを実施済	景気見通しが不透明	自社の業績状況	賃上げを検討しなかった	その他	
全業種	373	0.5	5.9	93.6	28.4	20.1	17.2	34.0	372	0.8	4.8	1.6	13.2	1.3	5.4	23.7	23.9	23.9	23.9	1.3
製造業	156	-	5.1	94.9	27.6	18.6	21.8	32.1	155	1.3	5.2	1.9	11.6	1.3	4.5	29.7	22.6	21.3	0.6	
従業員規模																				
1人～4人	79	-	3.8	96.2	20.3	12.7	21.5	45.6	78	-	1.3	1.3	5.1	1.3	3.8	32.1	21.8	32.1	1.3	
5人～9人	42	-	2.4	97.6	26.2	21.4	28.6	23.8	42	4.8	9.5	2.4	19.0	-	4.8	26.2	21.4	11.9	-	
10人～19人	19	-	5.3	94.7	36.8	36.8	15.8	10.5	19	-	10.5	5.3	21.1	-	-	26.3	31.6	5.3	-	
20人～29人	7	-	14.3	85.7	57.1	14.3	14.3	14.3	7	-	14.3	-	-	14.3	14.3	-	42.9	14.3	-	
30人～39人	1	-	100.0	-	100.0	-	-	-	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
40人～49人	2	-	-	100.0	50.0	-	-	50.0	2	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	
50人～99人	6	-	16.7	83.3	50.0	33.3	16.7	-	6	-	-	-	16.7	-	16.7	50.0	-	16.7	-	
100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
形態・立地																				
問屋・商社	9	-	-	100.0	44.4	11.1	22.2	22.2	9	-	22.2	-	22.2	-	-	22.2	-	-	33.3	
大メーカー	16	-	6.3	93.8	25.0	18.8	25.0	31.3	16	-	12.5	-	6.3	6.3	12.5	25.0	18.8	18.8	-	
中小メーカー・仲間業者	93	-	5.4	94.6	24.7	24.7	19.4	31.2	93	2.2	3.2	2.2	10.8	1.1	4.3	26.9	25.8	22.6	1.1	
小売業者	22	-	9.1	90.9	36.4	9.1	13.6	40.9	22	-	4.5	4.5	13.6	-	-	36.4	18.2	22.7	-	
最終需要家	12	-	-	100.0	25.0	-	41.7	33.3	11	-	-	-	18.2	-	9.1	54.5	18.2	-	-	
業況																				
良い	10	-	20.0	80.0	60.0	20.0	10.0	10.0	10	10.0	-	-	40.0	10.0	30.0	-	10.0	-	-	
普通	80	-	1.3	98.8	25.0	16.3	20.0	38.8	80	1.3	5.0	-	10.0	-	3.8	35.0	16.3	27.5	1.3	
悪い	65	-	7.7	92.3	24.6	21.5	26.2	27.7	65	-	6.2	4.6	9.2	1.5	1.5	27.7	32.3	16.9	-	
小売業	71	-	1.4	98.6	26.8	14.1	7.0	50.7	71	1.4	2.8	1.4	5.6	-	7.0	19.7	21.1	38.0	2.8	
従業員規模																				
1人～4人	56	-	1.8	98.2	26.8	8.9	3.6	58.9	56	-	1.8	-	5.4	-	1.8	19.6	21.4	46.4	3.6	
5人～9人	7	-	-	100.0	28.6	28.6	14.3	28.6	7	14.3	-	-	-	-	42.9	14.3	28.6	-	-	
10人～19人	4	-	-	100.0	25.0	25.0	50.0	-	4	-	-	-	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0	-	
20人～29人	2	-	-	100.0	-	50.0	-	50.0	2	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	
30人～39人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
40人～49人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
50人～99人	2	-	-	100.0	50.0	50.0	-	-	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	
100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
形態・立地																				
駅周辺商店街	15	-	-	100.0	46.7	20.0	13.3	20.0	15	6.7	6.7	-	-	-	13.3	13.3	26.7	33.3	-	
住宅地隣接商店街	35	-	2.9	97.1	22.9	8.6	8.6	60.0	35	-	-	2.9	-	-	2.9	20.0	17.1	51.4	5.7	
団地内商店街	3	-	-	100.0	-	-	-	100.0	3	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	
その他	18	-	-	100.0	22.2	22.2	-	50.0	18	-	5.6	-	22.2	-	11.1	22.2	16.7	22.2	-	
業況																				
良い	5	-	-	100.0	-	40.0	-	40.0	5	20.0	-	-	20.0	-	-	-	20.0	40.0	-	
普通	48	-	2.1	97.9	31.3	14.6	2.1	52.1	48	-	4.2	2.1	6.3	-	6.3	25.0	10.4	41.7	4.2	
悪い	18	-	-	100.0	22.2	5.6	22.2	50.0	18	-	-	-	-	-	11.1	11.1	50.0	27.8	-	
サービス業	51	-	3.9	96.1	37.3	19.6	9.8	33.3	51	-	3.9	2.0	5.9	2.0	5.9	27.5	31.4	19.6	2.0	
従業員規模																				
1人～4人	33	-	3.0	97.0	36.4	12.1	9.1	42.4	33	-	-	-	6.1	-	3.0	27.3	36.4	24.2	3.0	
5人～9人	6	-	-	100.0	16.7	33.3	-	50.0	6	-	-	-	-	16.7	-	16.7	33.3	33.3	-	
10人～19人	3	-	-	100.0	-	66.7	33.3	-	3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	
20人～29人	4	-	25.0	75.0	50.0	25.0	25.0	-	4	-	25.0	-	-	25.0	50.0	-	-	-	-	
30人～39人	1	-	-	100.0	-	100.0	-	-	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	
40人～49人	2	-	-	100.0	100.0	-	-	-	2	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	
50人～99人	2	-	-	100.0	100.0	-	-	-	2	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	
100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
業況																				
良い	2	-	50.0	50.0	100.0	-	-	-	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	
普通	32	-	-	100.0	43.8	12.5	12.5	31.3	32	-	3.1	-	3.1	3.1	3.1	37.5	25.0	25.0	-	
悪い	17	-	5.9	94.1	17.6	35.3	5.9	41.2	17	-	-	5.9	11.8	-	5.9	11.8	47.1	11.8	5.9	
建設業	54	-	14.8	85.2	24.1	25.9	24.1	25.9	54	-	3.7	-	27.8	-	7.4	16.7	24.1	18.5	1.9	
従業員規模																				
1人～4人	21	-	9.5	90.5	14.3	28.6	28.6	28.6	21	-	4.8	-	19.0	-	4.8	19.0	33.3	19.0	-	
5人～9人	14	-	21.4	78.6	35.7	21.4	14.3	28.6	14	-	-	-	14.3	-	7.1	14.3	28.6	28.6	7.1	
10人～19人	10	-	10.0	90.0	30.0	20.0	30.0	20.0	10	-	10.0	-	-	-	20.0	10.0	10.0	10.0	-	
20人～29人	3	-	-	100.0	33.3	33.3	-	33.3	3	-	-	-	66.7	-	-	33.3	-	-	-	
30人～39人	2	-	100.0	-	50.0	50.0	-	-	2	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	
40人～49人	2	-	-	100.0	-	-	50.0	50.0	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	
50人～99人	2	-	-	100.0	-	50.0	50.0	-	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	
100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
形態・立地																				
官公庁	2	-	-	100.0	-	50.0	50.0	-	2	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
大企業	9	-	11.1	88.9	33.3	33.3	11.1	22.2	9	-	-	-	44.4	-	-	11.1	33.3	11.1	-	
中小企業	32	-	15.6	84.4	25.0	28.1	18.8	28.1	32	-	3.1	-	31.3	-	9.4	21.9	12.5	18.8	3.1	
個人	9	-	11.1	88.9	11.1	11.1	44.4	33.3	9	-	11.1	-	-	-	11.1	44.4	33.3	-	-	
業況																				
良い	2	-	-	100.0	-	-	100.0	-	2	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	
普通	31	-	16.1	83.9	19.4	22.6	22.6	35.5	31	-	3.2									

問5 コロナ禍による事業承継の考え方の変化											
回答数	事業承継の方法に変更はない	事業承継の検討を始めた	事業承継の時期を早める	事業承継の時期を遅くする	事業承継の後継者を変更する	事業承継を検討する	事業承継予定だったが、廃業を白紙に戻した	事業承継予定だったが、予定を白紙に戻した	廃業予定だったが、事業を継続する	その他	事業承継について考えたことがない
全業種	369	36.6	5.4	2.2	2.4	0.5	0.8	0.3	1.1	3.3	47.4
製造業	154	35.1	3.9	1.9	1.9	0.6	-	-	-	3.2	53.2
従業員規模											
1人～4人	77	28.6	1.3	-	3.9	-	-	-	-	2.6	63.6
5人～9人	42	35.7	2.4	2.4	-	2.4	-	-	-	4.8	52.4
10人～19人	19	42.1	15.8	10.5	-	-	-	-	-	-	31.6
20人～29人	7	42.9	-	-	-	-	-	-	-	14.3	42.9
30人～39人	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
40人～49人	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
50人～99人	6	83.3	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7
100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
形態・立地											
問屋・商社	9	66.7	11.1	-	-	-	-	-	-	11.1	11.1
大メーカー	16	68.8	6.3	-	-	-	-	-	-	-	25.0
中小メーカー・中間業者	93	23.7	3.2	3.2	2.2	1.1	-	-	-	4.3	62.4
小売業者	22	31.8	-	-	4.5	-	-	-	-	-	63.6
最終需要家	10	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	30.0
業況											
良い	10	40.0	10.0	-	10.0	-	-	-	-	-	40.0
普通	79	35.4	2.5	3.8	-	-	-	-	-	1.3	57.0
悪い	65	33.8	4.6	-	3.1	1.5	-	-	-	6.2	50.8
小売業	71	31.0	5.6	2.8	1.4	-	1.4	-	2.8	4.2	50.7
従業員規模											
1人～4人	56	26.8	7.1	1.8	1.8	-	-	-	3.6	3.6	55.4
5人～9人	7	42.9	-	14.3	-	-	14.3	-	-	-	28.6
10人～19人	4	25.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0	50.0
20人～29人	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30人～39人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40人～49人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50人～99人	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
形態・立地											
駅周辺商店街	15	46.7	-	-	-	-	6.7	-	6.7	-	40.0
住宅地隣接商店街	35	17.1	8.6	-	2.9	-	-	-	2.9	2.9	65.7
団地内商店街	3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3
その他	18	44.4	-	11.1	-	-	-	-	-	11.1	33.3
業況											
良い	5	40.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0	40.0
普通	48	33.3	4.2	4.2	2.1	-	-	-	2.1	4.2	50.0
悪い	18	22.2	11.1	-	-	-	5.6	-	5.6	-	55.6
サービス業	50	28.0	8.0	2.0	4.0	2.0	-	-	4.0	4.0	48.0
従業員規模											
1人～4人	32	18.8	6.3	-	6.3	3.1	-	-	6.3	-	59.4
5人～9人	6	33.3	-	-	-	-	-	-	-	16.7	50.0
10人～19人	3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	-
20人～29人	4	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0
30人～39人	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40人～49人	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
50人～99人	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
業況											
良い	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0
普通	32	34.4	6.3	-	3.1	3.1	-	-	6.3	3.1	43.8
悪い	16	18.8	12.5	-	6.3	-	-	-	-	6.3	56.3
建設業	53	56.6	1.9	1.9	1.9	-	1.9	1.9	-	3.8	30.2
従業員規模											
1人～4人	20	40.0	5.0	-	-	-	5.0	-	-	-	50.0
5人～9人	14	64.3	-	7.1	7.1	-	-	-	-	7.1	14.3
10人～19人	10	40.0	-	-	-	-	-	10.0	-	10.0	40.0
20人～29人	3	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30人～39人	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40人～49人	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50人～99人	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
形態・立地											
官公庁	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-
大企業	9	66.7	-	-	-	-	-	11.1	-	11.1	11.1
中小企業	31	51.6	3.2	-	3.2	-	-	-	-	3.2	38.7
個人	9	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3
業況											
良い	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
普通	31	48.4	3.2	3.2	3.2	-	-	-	-	3.2	38.7
悪い	19	68.4	-	-	-	-	5.3	5.3	-	5.3	15.8

東京都全体の中小企業の景況

(2022年4月～6月期)

業界は改善が進む ～原油・原材料高騰が懸念～

都内中小企業の景況・6業種合計 (D.I.)



業況判断DI(季節調整済、「良い」企業割合-「悪い」企業割合)を見ると、新型コロナに伴う行動制限が解除されたことで社会経済活動の活性化が進み、業況判断DIは予想(△23.6)を上回る△16.6となり、前期に比べ10.7ポイント増と大きく改善した。個人消費が上向き、景気を持ち直しの動きが加速した。

来期は、今期に引き続き消費拡大による更なる回復を期待するものの、原油や原材料価格の高騰、物価高を助長する円安の影響が景気を下振れさせる不安材料となっている。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-27.2	-17.3	9.9	-14.4	2.9
卸売業	-30.6	-17.9	12.7	-16.0	1.9
小売業	-37.3	-27.9	9.4	-24.6	3.3
サービス業	-30.2	-19.1	11.1	-15.6	3.5
建設業	-15.0	-4.5	10.5	-1.7	2.8
不動産業	-13.5	0.6	14.1	-1.6	-2.2
総合	-27.3	-16.6	10.7	-14.1	2.5

※前期(2022年1～3月) 来期(2022年7～9月)

<製造業>

一般機械、建設用金属、化学工業を中心に業況の改善が進んだ。売上額・受注残・収益においても大きく上向いた。価格面では、原材料価格が一段と上昇を強めたことにより、販売価格も上昇を強めた。資金繰りは厳しさを弱め、在庫は前期並の不足感が続いている。

経営上の問題点は前期同様に「売上の停滞・減少」(42%)、「原材料高」(38%)、「同業者間の競争の激化」(18%)となった。「原材料高」は6期連続で上昇を続けており、前期に比べ8ポイント増加した。重点経営施策も前期同様に「販路を広げる」(54%)、「経費を節減する」(43%)、「情報力を強化する」(14%)と続いている。

来期の業況は引続き改善を予想しているものの、急速な円安、原材料・資材価格高騰の影響が懸念される。売上額の改善は続き、受注残・収益については今期同様の水準で推移すると予想している。価格面では、原材料価格は上昇が若干弱まり、販売価格は今期並が続くと見ている。

<小売業>

個人消費の拡大により飲食店やスポーツ用品・玩具を中心に業況は改善した。売上額・収益においても持ち直しの動きを強めた。価格面では、仕入価格が上昇を強めたことにより、販売価格も上昇し物価の上昇が見られる。

経営上の問題点は「売上の停滞・減少」(44%)、2位に「同業者間の競争の激化」(21%)が浮上し、3位に「大型店との競争の激化」(20%)が続いた。重点経営施策は前期同様に「経費を節減する」(44%)、「品揃えを改善する」(27%)、「宣伝・広告を強化する」(21%)と続いている。

来期は、売上額・収益ともに改善傾向が続くと見ており、業況の回復も進むと予想している。価格面では、仕入価格・販売価格ともに今期並に推移すると見ている。

<サービス業>

まん延防止等重点措置が解除となり、人出の増加などで対面型サービスの需要拡大を受け、洗濯・理容・美容、娯楽を中心に業況は改善した。売上額・収益においても改善が見られた。価格面では、材料価格の上昇は一段と強まり、料金価格も上昇を強め、価格転嫁が一部で進みつつある。資金繰りは厳しさが和らぎ、人手は慢性的に不足感が続いている。

経営上の問題点は「売上の停滞・減少」(40%)、「同業者間の競争の激化」(28%)、3位に「材料価格の上昇」(20%)が浮上している。「材料価格の上昇」は6期連続で上昇が続いている。重点経営施策は前期同様に「経費を節減する」(44%)、「販路を広げる」(39%)、「人材を確保する」(20%)の順となっている。

来期の業況は今期に引き続き消費拡大による更なる回復を期待している。売上額・収益においても改善傾向を持続すると予想している。価格面では、料金価格・材料価格ともに今期並の水準で推移すると見ている。

<建設業>

材料価格、請負価格において一段の上昇が見られるものの、業況の回復が大きく見られた。売上額・受注残・収益においても上向き、施工高は増加し持ち直した。

経営上の問題点は「材料価格の上昇」(54%)、「人出不足」(29%)、「売上の停滞・減少」(28%)となっている。重点経営施策の上位項目は1位に「経費を節減する」(44%)、2位に「販路を広げる」(38%)と前期と順位が入れ替わり、3位に「人材を確保する」(34%)が続いている。

来期の業況は、今期並の改善傾向が緩やかに進むと予想している。売上額・受注残・施工高・収益は今期並に推移すると予想している。価格面では、材料価格・請負価格ともに今期同様の上昇幅が続くと見ている。

(一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ)

江戸川区と東京都全体の比較表

(2022年4月～6月期)

製造業

【今期実績の比較】

	全体		食料品		一般、金型、電気、輸送、精密機械器具		金属製品、建設用金属製品		パルプ・紙・紙加工品、出版業、印刷業、製版業、製本業		パルプ・紙、印刷、製本業		木材・木製品、家具・装備品		繊維工業、衣服・その他繊維製品		プラスチック製品	
	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都
業況	-31	-17	-42	-22	-21	-1	-22	-15	-41	-35	-41	-37	-33	-30	-42	-36	-49	-24
売上額	-22	-8	-42	-6	-6	4	-7	-4	-45	-24	-45	-23	-16	-23	-41	-27	-19	-6
受注残	-21	-7	-43	-7	-4	6	-14	-4	-33	-20	-32	-21	-8	-20	-49	-28	-24	-5
収益	-24	-14	-51	-16	1	-2	-24	-14	-31	-26	-31	-26	-12	-21	-53	-29	-26	-18
販売価格	4	11	6	23	8	14	17	15	-1	0	-1	0	3	6	-1	0	9	15
原材料価格	48	45	49	52	49	47	69	52	37	37	37	36	38	35	49	34	64	49
原材料在庫	-3	-4	-12	-1	8	-5	3	-2	-9	-2	-9	-3	-2	-9	-18	-2	10	-2
資金繰り	-13	-12	-24	-12	-15	-6	-4	-8	-21	-15	-21	-16	-2	-18	-16	-22	8	-13
雇用																		
残業時間	-11	-4	-8	-6	-5	0	-5	-1	-15	-10	-15	-11	-15	-10	0	-6	-27	-6
人手	-7	-10	0	-8	5	-10	-9	-13	0	-5	0	-4	-15	-10	0	-3	0	-10
同期比																		
売上額	-21	-6	-36	5	-23	5	0	0	-50	-23	-50	-22	-15	-13	-18	-24	-27	-10
収益	-24	-15	-42	-15	-18	-4	9	-9	-50	-29	-50	-28	-23	-22	-18	-30	-33	-22
経営上の問題点																		
① 売上の停滞・減少	48	42	33	41	50	36	50	37	65	58	65	58	69	57	36	49	47	34
② 原材料高	33	38	42	53	46	39	50	40	25	27	25	26	23	37	36	33	20	38
③ 同業者間の競争の激化	19	15	42	21	14	13	14	16	25	19	25	19	23	20	18	14	7	9
④ 利幅の縮小	19	18	17	20	18	17	5	12	30	27	30	28	8	14	27	21	7	15
⑤ 仕入先からの値上げ要請	17	13	25	14	23	14	14	12	10	12	10	12	15	18	9	7	13	11
重点経営施策																		
① 販路を広げる	57	54	58	62	64	53	41	48	70	63	70	62	62	57	64	60	53	51
② 経費を節減する	49	43	75	52	41	39	41	47	45	44	45	44	62	45	73	50	53	42
③ 情報力を強化する	16	14	-	9	9	12	27	13	30	19	30	19	-	8	18	16	-	10
④ 新製品・技術を開発する	10	13	17	14	23	17	5	16	5	7	5	6	23	16	-	3	-	12
⑤ 機械化を推進する	10	11	25	22	9	11	-	6	-	11	-	9	-	4	18	13	20	13
借入の難易度	-11	-3	-27	-15	-14	3	5	0	-6	-8	-6	-7	-8	-4	-36	-11	-15	-7

【来期見通しの比較】

業況	-27	-14	-43	-22	-20	-1	-12	-13	-47	-31	-47	-32	-37	-30	-53	-35	-44	-23
売上額	-17	-6	-33	-4	-3	4	-10	-6	-47	-22	-47	-22	-15	-18	-28	-22	-26	-9
受注残	-16	-5	-33	-6	2	6	-17	-7	-18	-14	-18	-15	0	-15	-36	-22	-34	-10
収益	-18	-12	-50	-15	-2	-5	-19	-14	-34	-23	-34	-23	-1	-17	-40	-27	-32	-19
販売価格	9	11	17	21	-1	14	23	12	11	4	11	4	10	10	19	1	6	14
原材料価格	43	42	45	54	40	46	62	47	33	35	33	34	34	33	39	29	66	45
原材料在庫	-1	-4	-3	-1	7	-5	7	-3	-8	-3	-8	-4	6	-5	-16	-3	7	-7
資金繰り	-10	-11	-22	-11	-14	-7	0	-9	-24	-16	-24	-17	0	-14	-17	-21	6	-15
雇用																		
残業時間	-11	-4	-8	-3	-5	-1	-5	0	-11	-10	-11	-10	-17	-10	0	-8	-27	-7
人手	-7	-9	8	-5	0	-10	-5	-12	-5	-6	-5	-5	-17	-10	0	-2	0	-11

* 季節変動調整済D・Eを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

* 単純D・Eを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

小売業

【今期実績の比較】

		全 体		家具・じゅう器、 家電・家庭用機械		飲食料品		衣服、呉服、 身の回り品	
		江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都
業況		-22	-28	-38	-23	-34	-26	-18	-46
売上額		-11	-17	-36	-14	-25	-17	-2	-25
収益		-16	-20	-37	-16	-23	-20	-12	-26
販売価格		13	11	-1	12	5	12	0	-2
仕入価格		23	29	-2	21	21	30	-1	16
在庫		0	-1	-32	-2	7	-1	-10	4
資金繰り		-5	-14	-34	-7	-12	-15	-14	-23
雇 用	残業時間	-3	-4	0	1	-4	-3	-11	-6
	人手	-7	-8	-13	-7	0	-9	0	-5
同 期 比	売上額	-11	-12	-25	-12	-27	-13	-11	-19
	収益	-12	-18	-38	-13	-23	-18	-11	-24
	販売価格	14	13	0	7	8	14	0	1
経 営 上 の 問 題 点	① 売上の停滞・減少	37	44	38	35	42	41	56	59
	② 大型店との競争の激化	21	21	13	26	15	20	56	19
	③ 同業者間の競争の激化	19	14	25	7	27	16	11	18
	④ 商店街の集客力の低下	18	20	25	30	15	24	33	16
	⑤ 利幅の縮小	14	18	25	12	12	19	11	12
重 点 経 営 施 策	① 経費を節減する	37	44	63	43	31	45	22	33
	② 品揃えを改善する	26	27	25	25	19	30	33	36
	③ 宣伝・広告を強化する	15	12	38	11	19	14	11	17
	④ 売れ筋商品を取り扱う	15	21	13	21	12	18	22	22
	⑤ 商店街事業を活性化させる	14	17	13	19	15	20	33	16
借入の難易度		-5	-6	-17	0	-14	-7	-17	-9

【来期見通しの比較】

業況		-25	-25	-41	-26	-32	-22	-24	-36
売上額		-12	-14	-42	-15	-17	-15	-26	-22
収益		-17	-18	-43	-17	-19	-17	-35	-22
販売価格		11	12	-2	14	5	14	-2	0
仕入価格		23	28	10	26	19	30	-2	17
在庫		0	-2	-24	-3	3	-2	-10	0
資金繰り		-5	-13	-37	-8	-10	-15	-11	-21
雇 用	残業時間	-3	-3	0	2	-4	-2	-11	-7
	人手	-7	-8	-13	-7	0	-8	0	-4

* 季節変動調整済D-Iを表示している項目。業況、売上額、収益、販売価格、仕入価格、在庫、資金繰り

* 単純D-Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

サービス業

【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		-25	-19
売上額		-13	-7
収益		-23	-13
料金価格		10	6
材料価格		42	30
資金繰り		-10	-9
雇 用	残業時間	-8	-5
	人手	-15	-16
同 期 比	売上額	-19	-7
	収益	-28	-15
経 営 上 の 問 題 点	① 売上の停滞・減少	49	40
	② 同業者間の競争の激化	32	20
	③ 人手不足	23	28
	④ 材料価格の上昇	17	19
	⑤ 利幅の縮小	15	11
重 点 経 営 施 策	① 経費を節減する	53	44
	② 販路を広げる	28	39
	③ 人材を確保する	17	18
	④ 宣伝・広告を強化する	15	20
	⑤ 技術力を強化する	15	12
借入の難易度		-5	-4

【来期見通しの比較】

業況		-24	-16
売上額		-13	-3
収益		-23	-10
料金価格		16	8
材料価格		42	29
資金繰り		-8	-9
雇 用	残業時間	-8	-4
	人手	-15	-16

* 季節変動調整済D・を表示している項目。

【サービス業】:業況、売上額、収益、料金価格、材料価格、資金繰り

【建設業】:業況、売上額、受注残、施工高、収益、請負価格、材料価格、在庫、資金繰り

* 単純D・を表示している項目。雇 用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

建設業

【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		-29	-5
売上額		-26	-2
受注残		-35	-1
施工高		-23	1
収益		-37	-11
請負価格		-10	12
材料価格		58	57
在庫		-8	-5
資金繰り		-21	-5
雇 用	残業時間	-20	-5
	人手	-27	-23
同 期 比	売上額	-30	-5
	収益	-39	-16
経 営 上 の 問 題 点	① 材料価格の上昇	61	54
	② 売上の停滞・減少	50	28
	③ 人手不足	27	29
	④ 同業者間の競争の激化	23	16
	⑤ 利幅の縮小	21	24
重 点 経 営 施 策	① 技術力を高める	50	44
	② 経費を節減する	38	38
	③ 人材を確保する	34	34
	④ 販路を広げる	30	22
	⑤ 情報力を強化する	20	17
借入の難易度		-4	4

【来期見通しの比較】

業況		-19	-2
売上額		-22	-1
受注残		-25	-1
施工高		-15	3
収益		-33	-12
請負価格		-7	12
材料価格		60	54
在庫		-7	-6
資金繰り		-17	-4
雇 用	残業時間	-11	-3
	人手	-27	-24

江戸川区の業種別転記表

(2022年4月～6月期)

製造業

転記表 No.1

2022年4～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		2020年		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		対	2022年
			7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		前期比	7～9月期
業 況	良 い	4.3	3.1	4.5	2.5	3.9	1.3	1.9	1.4	5.6	2.6	5.6	6.9	7.0	8.9	6.5	5.2		6.1	
	普 通	48.5	46.6	46.8	50.7	48.4	56.7	48.1	50.0	49.1	50.7	53.1	52.9	51.9	57.6	51.6	54.5		55.4	
	悪 い	47.2	50.3	48.7	46.8	47.7	42.0	50.0	48.6	45.3	46.7	41.3	40.2	41.1	33.5	41.9	40.3		38.5	
	D・I	-42.9	-47.2	-44.2	-44.3	-43.8	-40.7	-48.1	-47.2	-39.7	-44.1	-35.7	-33.3	-34.1	-24.6	-35.4	-35.1		-32.4	
	修 正 値	-40.6	-43.8	-44.0	-42.8	-42.5	-39.9	-44.3	-46.0	-37.6	-40.1	-36.0	-33.1	-34.2	-26.0	-30.8	-33.8	3.4	-27.1	
	傾 向 値	-25.3		-33.8		-40.7		-44.2		-44.4		-42.9		-40.6		-37.8				
売 上 額	増 加	6.2	6.1	5.8	7.4	2.0	4.5	5.1	2.0	7.2	7.1	8.1	8.3	6.9	9.3	11.5	7.0		11.2	
	変 ら ず	42.6	45.7	47.1	50.6	49.6	55.5	53.5	54.4	51.4	56.1	53.4	55.0	51.6	61.5	52.0	55.7		57.2	
	減 少	51.2	48.2	47.1	42.0	48.4	40.0	41.4	43.6	41.4	36.8	38.5	36.7	41.5	29.2	36.5	37.3		31.6	
	D・I	-45.0	-42.1	-41.3	-34.6	-46.4	-35.5	-36.3	-41.6	-34.2	-29.7	-30.4	-28.4	-34.6	-19.9	-25.0	-30.3		-20.4	
	修 正 値	-41.4	-39.1	-41.3	-33.5	-45.7	-34.7	-32.9	-40.3	-30.7	-26.5	-31.8	-28.2	-34.2	-21.2	-22.2	-28.6	12.0	-17.4	
	傾 向 値	-23.9		-32.8		-41.0		-43.4		-40.9		-38.2		-35.4		-32.5				
受 注 残	増 加	3.7	5.6	3.9	4.3	2.6	3.9	5.1	2.0	3.9	5.2	5.6	5.0	4.4	9.9	9.0	4.4		9.2	
	変 ら ず	47.5	49.3	53.5	55.6	52.3	61.0	54.8	56.8	59.4	57.4	59.6	60.4	56.6	62.1	57.7	59.5		63.2	
	減 少	48.8	45.1	42.6	40.1	45.1	35.1	40.1	41.2	36.7	37.4	34.8	34.6	39.0	28.0	33.3	36.1		27.6	
	D・I	-45.1	-39.5	-38.7	-35.8	-42.5	-31.2	-35.0	-39.2	-32.8	-32.2	-29.2	-29.6	-34.6	-18.1	-24.3	-31.7		-18.4	
	修 正 値	-41.4	-36.5	-40.3	-34.2	-41.5	-31.3	-30.9	-37.8	-28.7	-28.8	-31.7	-28.0	-34.1	-20.5	-21.1	-30.2	13.0	-15.6	
	傾 向 値	-24.4		-32.8		-39.9		-41.7		-38.8		-36.1		-33.9		-31.6				
収 益	増 加	4.3	6.1	4.5	6.2	3.3	3.9	5.7	4.7	6.6	6.5	8.1	6.7	5.7	9.3	9.0	5.1		9.2	
	変 ら ず	45.7	45.4	49.0	52.4	48.3	57.8	53.5	54.0	55.8	58.0	52.8	60.0	53.4	62.1	55.7	60.7		59.9	
	減 少	50.0	48.5	46.5	41.4	48.4	38.3	40.8	41.3	37.6	35.5	39.1	33.3	40.9	28.6	35.3	34.2		30.9	
	D・I	-45.7	-42.4	-42.0	-35.2	-45.1	-34.4	-35.1	-36.6	-31.0	-29.0	-31.0	-26.6	-35.2	-19.3	-26.3	-29.1		-21.7	
	修 正 値	-42.5	-38.7	-42.6	-34.1	-44.1	-34.7	-32.4	-36.0	-27.7	-25.0	-32.4	-26.6	-34.5	-21.1	-24.2	-28.2	10.3	-18.1	
	傾 向 値	-25.1		-33.7		-41.0		-43.1		-40.1		-36.9		-34.3		-32.0				
価 格 動 向	販 売 価 格	-16.1	-15.3	-10.9	-8.6	-7.2	-7.7	-5.1	-6.7	-4.4	-4.5	1.2	-2.2	6.3	1.3	3.2	7.6		8.6	
	” 修 正 値	-14.7	-14.3	-12.1	-8.3	-8.0	-8.3	-4.1	-7.1	-3.3	-3.6	-0.8	-3.0	3.8	0.1	4.1	5.7	0.3	9.0	
	” 傾 向 値	-4.4		-8.1		-10.9		-10.8		-8.4		-5.4		-2.2		0.5				
	原 材 料 価 格	-3.1	-0.6	1.3	4.9	14.4	3.9	16.6	12.0	27.1	15.4	32.3	22.2	43.4	28.5	52.0	38.6		44.8	
	” 修 正 値	-1.3	0.9	1.2	5.2	12.5	3.3	15.3	10.7	26.7	15.5	30.7	20.5	38.0	26.1	48.4	34.6	10.4	43.2	
	” 傾 向 値	10.1		5.9		3.8		5.5		11.1		18.7		26.2		34.3				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	原 材 料 在 庫 数 量	-1.9	-3.7	-2.5	2.5	-3.3	0.7	-3.2	-4.0	-2.2	-2.6	-2.4	-1.7	-4.4	-1.2	-2.5	-3.8		-0.7	
	” 修 正 値	-1.7	-4.7	-1.1	1.9	-3.0	1.6	-3.9	-3.1	-1.8	-2.8	-1.3	-2.6	-3.9	-0.7	-3.2	-2.6	0.7	-0.8	
	資 金 繰 り	-25.9	-32.5	-12.3	-17.3	-13.1	-13.7	-14.6	-15.4	-11.6	-13.5	-14.9	-11.7	-13.8	-15.6	-14.7	-12.1		-11.9	
” 修 正 値	-25.8	-31.4	-12.6	-18.2	-12.5	-13.8	-13.2	-14.2	-11.8	-11.6	-15.4	-13.1	-13.6	-15.6	-12.5	-11.5	1.1	-9.9		
前 年 同 期 比	売 上 額	-48.8		-49.1		-49.6		-35.0		-29.3		-23.6		-31.4		-20.7				
	収 益	-48.2		-43.2		-47.6		-31.8		-28.2		-29.8		-33.3		-23.7				
雇 用	残 業 時 間	-17.9	-20.8	-22.1	-16.9	-20.9	-17.0	-20.7	-17.9	-16.0	-18.4	-14.3	-15.7	-15.1	-13.7	-10.9	-17.2		-10.6	
	人 手	1.2	-5.4	-3.2	0.0	-0.7	-3.9	-3.2	-3.9	-6.1	-4.6	-3.1	-6.2	-3.8	-5.6	-6.5	-2.5		-6.6	
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	34.0	20.6	29.0	15.1	22.2	11.2	21.0	5.3	19.9	8.4	14.3	8.9	10.1	8.2	12.3	11.5		7.3	
	借入しない/借入の予定なし(%)	66.0	79.4	71.0	84.9	77.8	88.8	79.0	94.7	80.1	91.6	85.7	91.1	89.9	91.8	87.7	88.5		92.7	
	借入難易度	-3.5		-4.4		2.2		-1.4		-6.3		-10.1		-6.4		-10.9				
有効回答事業所数	162		156		154		157		181		161		159		156					

製造業

転記表 No.2

2022年4～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		2020年		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		対 前期比	2022年 7～9月期
	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期			
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-2.5	-4.9	-1.3	-4.4	-6.6	-2.7	-3.2	-6.7	-2.3	-5.2	-2.5	-3.3	-3.8	-3.8	-3.9	-3.9			-3.9
	実施した・予定あり	10.7	11.2	11.3	10.3	10.7	10.7	13.0	8.2	9.0	8.0	11.4	9.2	8.9	5.2	10.7	9.2			8.8
	事業用土地・建物	11.8	23.5	17.6	25.0	12.5	12.5	10.0	16.7	-	8.3	11.1	6.3	-	-	-	7.1			15.4
	機械・設備の新・増設	35.3	23.5	35.3	31.3	25.0	50.0	40.0	33.3	25.0	33.3	11.1	18.8	14.3	25.0	18.8	14.3			30.8
	機械・設備の更改	11.8	47.1	29.4	25.0	25.0	31.3	25.0	25.0	25.0	25.0	27.8	43.8	35.7	25.0	50.0	42.9			38.5
	事務機器	29.4	11.8	23.5	18.8	18.8	18.8	10.0	25.0	31.3	16.7	27.8	25.0	64.3	12.5	18.8	21.4			15.4
	車両	58.8	29.4	47.1	31.3	43.8	31.3	55.0	16.7	43.8	41.7	27.8	25.0	21.4	37.5	25.0	28.6			30.8
	その他	-	-	5.9	-	12.5	-	-	8.3	-	-	5.6	-	-	12.5	-	-			-
実施しない・予定なし	89.3	88.8	88.7	89.7	89.3	89.3	87.0	91.8	91.0	92.0	88.6	90.8	91.1	94.8	89.3	90.8			91.2	
経営上 の問題 点 (%)	売上の停滞・減少	54.9		48.7		48.7		53.5		54.1		49.7		52.8		48.1				
	人手不足	9.3		9.6		9.1		8.3		8.8		9.3		7.5		9.0				
	大手企業との競争の激化	8.0		10.9		6.5		8.3		8.3		10.6		9.4		10.9				
	同業者間の競争の激化	19.1		18.6		18.8		17.8		18.2		18.0		19.5		18.6				
	親企業による選別の強化	1.9		1.3		1.3		1.3		1.7		0.6		0.6		0.6				
	輸入製品との競争の激化	3.7		3.2		3.2		3.2		3.3		2.5		2.5		1.9				
	合理化の不足	3.1		3.8		4.5		2.5		2.2		3.1		3.1		2.6				
	利幅の縮小	8.6		14.7		13.6		13.4		9.4		13.0		15.1		19.2				
	原材料高	8.0		10.3		11.7		17.8		23.2		23.6		31.4		32.7				
	販売納入先からの値下げ要請	8.0		6.4		4.5		5.1		4.4		5.6		2.5		3.8				
	仕入先からの値上げ要請	1.9		3.2		1.3		6.4		8.3		8.7		13.8		17.3				
	人件費の増加	3.7		6.4		3.9		3.8		3.3		3.1		4.4		2.6				
	人件費以外の経費の増加	2.5		0.6		1.9		1.3		1.7		1.9		-		0.6				
	工場・機械の狭小・老朽化	6.2		7.7		7.1		3.2		7.2		6.2		8.2		7.1				
	生産能力の不足	4.9		5.8		4.5		1.9		3.9		2.5		3.1		1.3				
	下請の確保難	3.1		1.9		1.9		1.3		3.9		3.1		3.8		0.6				
	代金回収の悪化	1.2		0.6		1.3		0.6		0.6		-		0.6		1.3				
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-				
	天候の不順	-		-		0.6		-		1.7		0.6		-		-				
	地場産業の衰退	2.5		1.9		2.6		3.2		2.2		2.5		1.9		2.6				
大手企業・工場の縮小・撤退	3.1		3.2		1.3		1.9		2.8		1.9		2.5		2.6					
為替レートの変動	-		-		-		0.6		-		-		-		-					
その他	4.3		3.2		2.6		1.9		3.9		2.5		3.1		4.5					
問題なし	10.5		11.5		13.0		9.6		8.3		12.4		5.7		3.8					
重点 経営 施策 (%)	販路を広げる	51.9		53.2		52.6		53.5		56.9		55.9		57.9		57.1				
	経費を節減する	46.3		48.1		46.8		51.0		49.2		49.1		50.3		49.4				
	情報力を強化する	14.8		16.7		13.6		17.2		14.9		15.5		17.0		16.0				
	新製品・技術を開発する	8.6		8.3		7.8		8.3		6.6		10.6		9.4		10.3				
	不採算部門を整理・縮小する	3.1		3.2		3.9		3.2		2.8		1.9		3.1		4.5				
	提携先を見つける	4.3		7.7		5.2		7.6		7.2		5.0		5.7		7.1				
	機械化を推進する	6.8		6.4		5.8		7.0		5.0		5.0		8.2		6.4				
	人材を確保する	9.3		7.7		5.8		5.1		8.3		8.7		6.9		10.3				
	パート化を図る	0.6		1.3		0.6		1.3		2.2		0.6		0.6		0.6				
	教育訓練を強化する	3.7		3.2		1.3		1.3		3.3		3.7		5.0		2.6				
	労働条件を改善する	1.9		2.6		1.9		2.5		3.3		1.9		3.1		3.2				
	工場・機械を増設・移転する	1.9		1.9		2.6		2.5		1.7		2.5		1.3		3.2				
	不動産の有効活用を図る	-		0.6		0.6		0.6		-		-		1.3		1.3				
その他	-		-		0.6		-		-		-		0.6		0.6					
特になし	16.7		14.1		13.6		10.8		9.9		14.3		10.7		9.0					
有効回答事業所数		162		156		154		157		181		161		159		156				

小売業

転記表 No.1

2022年4~6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		2020年		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		対 前期比	2022年 7~9月期
	7月~9月期	10月~12月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期				
業 況	良 い	5.6	1.4	4.2	2.9	6.9	-	4.2	1.4	3.7	1.4	2.7	1.3	4.2	5.4	6.8	2.8		4.2	
	普 通	52.1	60.0	56.9	52.8	48.7	57.1	60.6	52.8	58.0	65.7	58.1	59.5	61.1	56.8	67.2	66.6		70.8	
	悪 い	42.3	38.6	38.9	44.3	44.4	42.9	35.2	45.8	38.3	32.9	39.2	39.2	34.7	37.8	26.0	30.6		25.0	
	D・I	-36.7	-37.2	-34.7	-41.4	-37.5	-42.9	-31.0	-44.4	-34.6	-31.5	-36.5	-37.9	-30.5	-32.4	-19.2	-27.8		-20.8	
	修正値	-37.1	-38.6	-33.2	-42.3	-37.2	-41.9	-32.7	-41.8	-35.4	-34.1	-35.1	-38.9	-29.5	-31.9	-22.3	-24.6	7.2	-24.7	
	傾 向 値	-32.7		-34.1		-35.3		-35.7		-34.7		-34.7		-34.0		-31.7				
売 上 額	増 加	4.2	4.2	5.6	5.7	4.2	-	4.2	-	4.9	1.4	2.7	5.0	6.9	1.4	12.3	4.1		12.3	
	変 ら ず	50.7	56.4	51.3	52.9	47.2	59.7	56.4	51.4	58.1	64.3	67.6	65.0	65.3	71.2	63.0	72.6		63.0	
	減 少	45.1	39.4	43.1	41.4	48.6	40.3	39.4	48.6	37.0	34.3	29.7	30.0	27.8	27.4	24.7	23.3		24.7	
	D・I	-40.9	-35.2	-37.5	-35.7	-44.4	-40.3	-35.2	-48.6	-32.1	-32.9	-27.0	-25.0	-20.9	-26.0	-12.4	-19.2		-12.4	
	修正値	-39.9	-33.6	-37.6	-36.5	-43.6	-39.8	-33.9	-46.4	-32.4	-32.2	-28.0	-27.1	-20.7	-26.5	-10.8	-17.1	9.9	-11.7	
	傾 向 値	-27.9		-33.0		-38.5		-40.7		-38.4		-36.0		-31.7		-26.0				
収 益	増 加	4.2	4.2	5.6	4.3	2.8	1.4	4.2	-	4.9	1.4	4.1	3.8	4.1	1.4	6.8	1.4		8.2	
	変 ら ず	50.7	60.6	50.0	52.8	50.0	58.3	59.2	51.4	56.8	64.3	66.2	63.7	65.8	69.8	69.9	73.9		65.8	
	減 少	45.1	35.2	44.4	42.9	47.2	40.3	36.6	48.6	38.3	34.3	29.7	32.5	30.1	28.8	23.3	24.7		26.0	
	D・I	-40.9	-31.0	-38.8	-38.6	-44.4	-38.9	-32.4	-48.6	-33.4	-32.9	-25.6	-28.7	-26.0	-27.4	-16.5	-23.3		-17.8	
	修正値	-40.2	-28.9	-39.6	-39.0	-42.7	-40.2	-32.0	-45.4	-33.2	-31.9	-27.4	-29.5	-24.0	-29.9	-15.8	-19.9	8.2	-17.2	
	傾 向 値	-26.2		-31.9		-37.7		-39.8		-38.2		-35.6		-31.7		-27.4				
価 格 動 向	販 売 価 格	-8.5	-16.9	-8.3	-10.0	-5.5	-13.9	-2.8	-11.1	1.3	-5.7	-1.3	0.0	-2.8	0.0	12.3	0.0		10.9	
	" 修正値	-6.8	-15.4	-10.8	-9.5	-5.8	-14.2	-1.5	-10.6	1.5	-5.1	-3.7	-1.4	-2.6	-1.1	12.6	0.5	15.2	11.0	
	" 傾 向 値	-2.1		-6.1		-9.3		-8.0		-5.1		-3.0		-1.7		0.5				
	仕 入 価 格	-7.1	-11.5	-5.5	-8.6	1.3	-8.3	2.9	-4.1	7.4	0.0	13.5	6.2	12.4	12.3	23.3	8.3		23.3	
	" 修正値	-4.0	-9.6	-7.4	-6.2	0.0	-9.1	4.4	-5.0	8.5	0.5	10.6	6.6	11.1	10.2	23.4	7.7	12.3	22.7	
	" 傾 向 値	4.1		-1.0		-5.0		-4.1		-0.3		3.9		7.7		11.6				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	-1.5	-7.1	-1.4	-2.9	-2.8	-1.3	5.7	-2.8	0.0	0.0	-4.0	0.0	-1.4	-5.5	1.4	-6.9		1.3	
	" 修正値	-0.3	-7.2	-2.2	-1.9	-1.6	-2.5	4.0	-2.0	1.1	-0.3	-4.4	0.8	-0.1	-6.3	-0.4	-5.4	-0.3	0.3	
	資 金 繰 り	-18.3	-25.4	-15.2	-18.6	-19.4	-13.8	-8.5	-19.4	-13.6	-10.0	-14.8	-12.5	-8.2	-15.1	-4.1	-9.6		-4.2	
	" 修正値	-18.6	-24.6	-16.5	-20.4	-19.7	-14.9	-8.4	-18.3	-14.3	-9.7	-15.2	-14.3	-8.7	-15.2	-4.9	-9.0	3.8	-5.0	
前 年 同 期 比	売 上 額	-43.7		-34.7		-40.2		-25.3		-30.8		-22.9		-17.8		-11.0				
	収 益	-42.3		-36.1		-43.0		-28.2		-32.1		-28.3		-28.8		-12.3				
	販 売 価 格	-7.1		-12.5		-11.1		-1.4		6.1		5.4		2.7		13.7				
雇 用	残 業 時 間	-14.3	-15.7	-7.1	-15.9	-13.9	-9.9	-8.6	-9.9	-8.7	-5.7	-8.2	-6.3	-8.2	-6.8	-2.7	-9.6		-2.8	
	人 手	-4.2	-4.4	-4.2	-2.8	-2.8	-4.2	-2.9	-1.4	2.5	-4.3	-1.4	0.0	-1.4	-2.7	-6.9	-4.1		-7.2	
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	25.4	13.0	21.1	7.0	17.1	7.0	16.9	7.1	17.5	5.7	17.6	6.3	11.0	4.1	16.7	5.5		4.2	
	借入しな/借入の予定なし(%)	74.6	87.0	78.9	93.0	82.9	93.0	83.1	92.9	82.5	94.3	82.4	93.7	89.0	95.9	83.3	94.5		95.8	
	借入難易度	0.0		-12.5		-12.5		-11.1		-20.6		-8.2		-12.5		-5.2				
有効回答事業所数	71		72		72		71		81		74		73		73					

小売業

転記表 No.2

2022年4～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		2020年		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		対 前期比	2022年 7～9月期
	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期					
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-7.0	-5.8	-4.3	-4.4	-7.1	-5.7	-5.7	-8.5	-4.9	-5.7	-6.7	-7.5	-5.5	-5.5	-11.0	-6.9		-11.0	
	実施した・予定あり	9.0	3.1	4.6	9.1	2.9	4.7	6.0	2.9	6.9	9.1	5.5	7.2	10.0	4.1	8.6	7.4		7.5	
	事業用土地・建物	16.7	-	-	16.7	-	-	50.0	-	20.0	50.0	-	20.0	28.6	33.3	-	20.0		-	
	事務機器	16.7	50.0	-	33.3	-	33.3	-	100.0	20.0	-	50.0	-	14.3	33.3	50.0	-		40.0	
	車両	50.0	50.0	33.3	33.3	50.0	-	50.0	50.0	40.0	16.7	75.0	60.0	57.1	33.3	50.0	20.0		60.0	
	その他	33.3	50.0	66.7	33.3	50.0	66.7	25.0	-	40.0	33.3	-	40.0	14.3	-	33.3	60.0		20.0	
	実施しない・予定なし	91.0	96.9	95.4	90.9	97.1	95.3	94.0	97.1	93.1	90.9	94.5	92.8	90.0	95.9	91.4	92.6		92.5	
経営上 の問題 点 (%)	売上の停滞・減少	59.2		50.0		45.8		47.9		40.7		39.2		42.5		37.0				
	人手不足	1.4		4.2		2.8		4.2		4.9		2.7		5.5		8.2				
	同業者間の競争の激化	22.5		27.8		26.4		28.2		29.6		18.9		23.3		20.5				
	大型店との競争の激化	28.2		23.6		25.0		28.2		17.3		23.0		28.8		17.8				
	輸入製品との競争の激化	-		-		-		-		1.2		1.4		1.4		-				
	利幅の縮小	7.0		11.1		8.3		8.5		11.1		9.5		13.7		12.3				
	取扱商品の陳腐化	1.4		5.6		6.9		8.5		3.7		4.1		4.1		2.7				
	販売商品の不足	2.8		2.8		1.4		1.4		2.5		2.7		1.4		2.7				
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		-		-		-		-		-		-				
	仕入先からの値上げ要請	5.6		2.8		4.2		2.8		8.6		10.8		6.8		13.7				
	人件費の増加	-		-		-		-		1.2		1.4		1.4		4.1				
	人件費以外の経費の増加	2.8		1.4		1.4		1.4		1.2		2.7		1.4		6.8				
	取引先の減少	7.0		4.2		6.9		2.8		3.7		6.8		4.1		6.8				
	商圏人口の減少	-		4.2		5.6		5.6		3.7		4.1		2.7		4.1				
	商店街の集客力の低下	14.1		15.3		16.7		12.7		11.1		14.9		21.9		19.2				
	店舗の狭小・老朽化	4.2		4.2		4.2		5.6		4.9		2.7		2.7		1.4				
	代金回収の悪化	-		-		-		-		1.2		-		-		-				
	地価の高騰	-		-		-		-		2.5		-		-		-				
	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-				
	天候の不順	5.6		2.8		2.8		1.4		4.9		4.1		4.1		4.1				
地場産業の衰退	-		1.4		-		1.4		3.7		1.4		1.4		1.4					
大手企業・工場の縮小・撤退	1.4		-		-		-		-		-		-		-					
その他	4.2		1.4		4.2		1.4		-		1.4		1.4		2.7					
問題なし	8.5		16.7		13.9		16.9		16.0		23.0		15.1		12.3					
重点 経営 施策 (%)	品揃えを改善する	25.4		29.2		27.8		29.6		28.4		24.3		28.8		26.0				
	経費を節減する	45.1		36.1		36.1		38.0		40.7		32.4		37.0		37.0				
	宣伝・広告を強化する	15.5		22.2		22.2		22.5		13.6		16.2		19.2		15.1				
	新しい事業を始める	1.4		4.2		4.2		1.4		-		-		1.4		1.4				
	店舗・設備を改装する	4.2		4.2		1.4		2.8		3.7		2.7		5.5		4.1				
	仕入先を開拓・選別する	4.2		6.9		4.2		5.6		7.4		8.1		4.1		8.2				
	営業時間を延長する	1.4		2.8		-		-		-		-		1.4		-				
	売れ筋商品を取り扱う	18.3		18.1		15.3		19.7		18.5		21.6		17.8		13.7				
	商店街事業を活性化させる	8.5		11.1		12.5		7.0		9.9		13.5		12.3		15.1				
	機械化を推進する	1.4		4.2		1.4		2.8		1.2		1.4		2.7		4.1				
	人材を確保する	2.8		5.6		1.4		-		1.2		1.4		5.5		9.6				
	パート化を図る	1.4		1.4		1.4		1.4		-		-		1.4		1.4				
	教育訓練を強化する	1.4		-		-		-		-		-		1.4		2.7				
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		-		-		-				
	不動産の有効活用を図る	1.4		2.8		-		5.6		3.7		4.1		1.4		1.4				
	その他	1.4		1.4		2.8		-		-		-		-		1.4				
	特になし	19.7		19.4		22.2		23.9		24.7		35.1		23.3		20.5				
有効回答事業所数		71		72		72		71		81		74		73		73				

サービス業

転記表 No.1

2022年4～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		2020年		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		対 前期比	2022年 7～9月期
	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期			
業 況	良 い	1.9	1.8	1.9	1.9	-	-	-	3.6	6.2	-	10.2	9.4	5.1	10.2	3.8	3.4		-	
	普 通	49.0	44.6	52.8	50.9	43.9	59.3	57.7	50.9	55.3	65.4	52.5	60.9	55.9	59.3	64.1	63.8		71.2	
	悪 い	49.1	53.6	45.3	47.2	56.1	40.7	42.3	45.5	38.5	34.6	37.3	29.7	39.0	30.5	32.1	32.8		28.8	
	D・I	-47.2	-51.8	-43.4	-45.3	-56.1	-40.7	-42.3	-41.9	-32.3	-34.6	-27.1	-20.3	-33.9	-20.3	-28.3	-29.4		-28.8	
	修 正 値	-46.8	-48.8	-42.4	-44.4	-55.1	-40.6	-40.1	-42.0	-32.9	-31.4	-27.7	-21.8	-32.2	-21.6	-25.0	-29.2	7.2	-23.9	
	傾 向 値	-23.7		-34.4		-44.9		-48.9		-45.4		-41.5		-36.7		-32.2				
売 上 額	増 加	-	3.5	1.9	1.9	-	5.6	1.9	3.5	10.8	-	15.3	12.3	11.9	15.3	11.3	8.5		5.8	
	変 ら ず	50.9	35.1	44.4	52.8	47.4	55.5	55.8	52.6	52.3	71.2	49.1	56.9	50.8	57.6	62.3	64.4		69.2	
	減 少	49.1	61.4	53.7	45.3	52.6	38.9	42.3	43.9	36.9	28.8	35.6	30.8	37.3	27.1	26.4	27.1		25.0	
	D・I	-49.1	-57.9	-51.8	-43.4	-52.6	-33.3	-40.4	-40.4	-26.1	-28.8	-20.3	-18.5	-25.4	-11.8	-15.1	-18.6		-19.2	
	修 正 値	-48.4	-55.2	-50.0	-42.4	-51.3	-34.7	-38.7	-38.9	-28.7	-25.2	-19.5	-21.2	-24.9	-15.8	-13.1	-17.3	11.8	-12.7	
	傾 向 値	-25.5		-36.7		-47.2		-50.3		-45.6		-38.8		-31.5		-24.9				
収 益	増 加	-	3.4	1.9	1.9	-	5.6	3.8	1.8	7.7	3.8	13.6	9.2	8.5	13.6	11.3	6.8		5.8	
	変 ら ず	52.8	34.5	44.4	50.9	47.4	53.7	57.7	52.6	53.8	65.4	47.4	58.5	54.2	57.6	52.9	62.7		59.6	
	減 少	47.2	62.1	53.7	47.2	52.6	40.7	38.5	45.6	38.5	30.8	39.0	32.3	37.3	28.8	35.8	30.5		34.6	
	D・I	-47.2	-58.7	-51.8	-45.3	-52.6	-35.1	-34.7	-43.8	-30.8	-27.0	-25.4	-23.1	-28.8	-15.2	-24.5	-23.7		-28.8	
	修 正 値	-46.1	-56.3	-50.4	-43.3	-50.7	-36.6	-33.9	-42.6	-31.5	-23.8	-25.3	-22.7	-27.8	-19.8	-22.8	-23.3	5.0	-23.3	
	傾 向 値	-27.2		-37.6		-47.7		-49.4		-44.5		-39.2		-32.9		-28.7				
価 格 動 向	料 金 価 格	-5.6	-20.7	-5.6	-1.9	-12.2	-1.9	-9.6	-8.8	-1.5	-5.8	3.4	0.0	8.5	3.4	7.5	6.8		13.5	
	〃 修 正 値	-6.4	-18.2	-7.1	-3.7	-11.1	-3.3	-6.5	-8.2	-2.8	-2.1	-0.1	-2.5	7.0	1.0	10.3	5.4	3.3	15.9	
	〃 傾 向 値	-2.5		-5.5		-9.2		-9.6		-7.7		-6.1		-2.4		2.3				
	材 料 価 格	7.7	1.7	5.6	7.7	7.0	11.1	5.8	12.2	17.0	5.8	25.4	18.5	39.0	28.8	41.5	39.0		42.3	
	〃 修 正 値	7.5	1.0	5.0	7.4	5.8	10.7	8.3	11.5	15.7	6.4	21.7	17.2	34.0	25.3	42.1	34.4	8.1	42.3	
	〃 傾 向 値	13.2		9.7		5.8		5.4		7.7		11.3		17.8		26.3				
資 金 繰 り	資 金 繰 り	-35.8	-43.1	-22.2	-24.5	-31.6	-11.1	-17.3	-22.8	-13.8	-13.5	-15.2	-10.9	-13.5	-11.8	-13.2	-13.5		-11.6	
	〃 修 正 値	-34.8	-40.8	-24.6	-23.3	-29.6	-15.3	-14.5	-20.8	-14.2	-11.3	-18.4	-10.9	-11.9	-16.6	-10.0	-11.8	1.9	-8.3	
前 年 同 期 比	売 上 額	-56.6		-53.6		-59.6		-34.7		-29.2		-18.7		-22.0		-18.9				
	収 益	-60.4		-57.3		-54.4		-34.6		-32.3		-22.0		-27.1		-28.3				
雇 用	残 業 時 間	-24.5	-29.8	-20.4	-18.9	-31.5	-20.4	-21.2	-24.5	-18.5	-17.6	-8.5	-12.3	-18.6	-11.9	-7.5	-15.5		-7.5	
	人 手	-15.1	-5.3	-9.3	-15.1	-5.2	-9.3	-11.6	-10.5	-10.7	-11.8	-13.8	-12.3	-10.2	-13.8	-15.1	-10.3		-15.1	
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	35.3	22.8	26.4	9.8	16.1	9.3	13.7	7.0	15.4	12.0	13.8	9.2	8.6	13.8	3.8	8.9		7.5	
	借入しない/借入の予定なし(%)	64.7	77.2	73.6	90.2	83.9	90.7	86.3	93.0	84.6	88.0	86.2	90.8	91.4	86.2	96.2	91.1		92.5	
	借 入 難 易 度	0.0		-4.8		-8.7		-10.0		-10.4		-2.3		-9.3		-4.8				
有効回答事業所数		54		55		57		52		65		59		59		53				

サービス業

転記表 No.2

2022年4～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		2020年		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		対 前期比	2022年 7～9月期
	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期			
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-9.6	-10.7	-3.7	-9.8	-5.5	-3.7	-3.9	-5.5	-4.7	-1.9	-6.9	-6.3	-6.8	-6.9	-5.6	-8.7			-3.9
	実施した・予定あり	10.0	10.9	9.4	12.2	10.7	7.5	9.6	8.9	14.3	5.9	19.3	12.7	5.2	15.8	17.6	12.5			18.0
	事業用土地・建物	40.0	16.7	20.0	16.7	16.7	50.0	60.0	40.0	44.4	66.7	27.3	12.5	66.7	22.2	11.1	42.9			22.2
	機械・設備の新・増設	40.0	-	40.0	16.7	50.0	25.0	80.0	60.0	44.4	33.3	54.5	50.0	33.3	66.7	22.2	42.9			44.4
	機械・設備の更改	40.0	16.7	-	33.3	-	-	20.0	-	33.3	66.7	27.3	-	-	11.1	11.1	-			11.1
	事務機器	20.0	16.7	20.0	33.3	16.7	-	-	-	11.1	-	9.1	25.0	-	11.1	11.1	14.3			11.1
	車両	20.0	66.7	40.0	50.0	50.0	50.0	20.0	40.0	44.4	33.3	36.4	50.0	33.3	33.3	66.7	42.9			44.4
	その他	-	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-	9.1	-	-	-	11.1	-			11.1
実施しない・予定なし	90.0	89.1	90.6	87.8	89.3	92.5	90.4	91.1	85.7	94.1	80.7	87.3	94.8	84.2	82.4	87.5			82.0	
経営 上の 問題 点 (%)	売上の停滞・減少	55.6		49.1		49.1		53.8		46.2		42.4		45.8		49.1				
	人手不足	11.1		9.1		12.3		9.6		10.8		15.3		18.6		17.0				
	同業者間の競争の激化	25.9		25.5		29.8		28.8		30.8		32.2		27.1		22.6				
	大企業との競争の激化	11.1		10.9		12.3		9.6		4.6		6.8		8.5		5.7				
	合理化の不足	-		-		-		-		1.5		-		-		-				
	利幅の縮小	14.8		10.9		8.8		13.5		12.3		13.6		16.9		15.1				
	取扱事務の陳腐化	-		-		-		-		-		-		-		-				
	材料価格の上昇	5.6		3.6		8.8		3.8		9.2		16.9		16.9		32.1				
	料金の値下げ要請	3.7		1.8		-		-		3.1		-		-		-				
	人件費の増加	1.9		10.9		3.5		1.9		6.2		10.2		5.1		1.9				
	人件費以外の経費の増加	-		-		-		-		-		1.7		3.4		1.9				
	技術力の不足	-		-		-		1.9		1.5		1.7		-		-				
	取引先の減少	9.3		12.7		14.0		9.6		9.2		10.2		6.8		7.5				
	商圏人口の減少	1.9		3.6		1.8		3.8		3.1		1.7		-		-				
	地価の高騰	-		1.8		-		-		-		-		-		-				
	駐車場の確保難	1.9		-		1.8		1.9		-		1.7		1.7		-				
	店舗・設備の狭小・老朽化	9.3		5.5		7.0		9.6		4.6		10.2		5.1		3.8				
	代金回収の悪化	-		1.8		-		-		-		-		-		-				
	天候の不順	3.7		1.8		1.8		3.8		7.7		3.4		5.1		3.8				
	地場産業の衰退	-		1.8		-		-		1.5		1.7		1.7		-				
大手企業・工場の縮小・撤退	5.6		-		-		1.9		-		-		-		1.9					
その他	1.9		7.3		5.3		7.7		7.7		5.1		10.2		5.7					
問題なし	13.0		14.5		21.1		15.4		15.4		15.3		13.6		11.3					
重点 経営 施策 (%)	販路を広げる	40.7		32.7		28.1		36.5		38.5		37.3		30.5		28.3				
	経費を節減する	38.9		38.2		40.4		38.5		41.5		37.3		40.7		52.8				
	宣伝・広告を強化する	24.1		20.0		21.1		17.3		18.5		22.0		15.3		17.0				
	新しい事業を始める	3.7		1.8		1.8		3.8		-		-		3.4		1.9				
	店舗・設備を改装する	5.6		10.9		7.0		9.6		4.6		5.1		5.1		5.7				
	提携先を見つける	5.6		3.6		7.0		3.8		3.1		6.8		3.4		9.4				
	技術力を強化する	5.6		12.7		8.8		11.5		4.6		6.8		8.5		15.1				
	機械化を推進する	1.9		-		1.8		1.9		1.5		1.7		1.7		-				
	人材を確保する	13.0		9.1		12.3		7.7		13.8		20.3		15.3		15.1				
	パート化を図る	1.9		-		-		-		1.5		-		-		-				
	教育訓練を強化する	3.7		9.1		5.3		3.8		7.7		10.2		6.8		9.4				
	労働条件を改善する	3.7		7.3		5.3		5.8		6.2		1.7		3.4		5.7				
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		1.9		-		1.7		1.7		3.8				
	その他	-		1.8		-		-		-		-		-		-				
特になし	20.4		25.5		28.1		19.2		16.9		20.3		18.6		11.3					
有効回答事業所数		54		55		57		52		65		59		59		53				

建設業

転記表 No.1

2022年4～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		2020年		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		対 前期比	2022年 7～9月期
	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期			
業 況	良 い	11.5	5.7	10.2	7.8	7.0	10.2	10.6	9.3	15.0	8.5	10.7	12.1	13.7	14.5	3.6	15.7		7.5	
	普 通	57.7	52.8	55.1	53.0	46.5	53.1	51.1	55.8	45.0	59.6	51.8	53.4	51.0	58.2	56.4	51.0		62.3	
	悪 い	30.8	41.5	34.7	39.2	46.5	36.7	38.3	34.9	40.0	31.9	37.5	34.5	35.3	27.3	40.0	33.3		30.2	
	D・I	-19.3	-35.8	-24.5	-31.4	-39.5	-26.5	-27.7	-25.6	-25.0	-23.4	-26.8	-22.4	-21.6	-12.8	-36.4	-17.6		-22.7	
	修正値	-17.4	-34.0	-24.5	-28.8	-39.3	-26.5	-22.3	-24.2	-24.9	-21.4	-27.0	-20.0	-20.6	-14.3	-29.0	-15.8	-8.4	-19.3	
	傾 向 値	-11.2		-18.8		-26.4		-29.2		-28.5		-29.5		-27.5		-26.4				
売 上 額	増 加	13.5	9.4	12.2	5.8	7.0	12.2	10.6	9.3	13.3	6.4	19.6	16.7	17.3	23.2	8.9	13.5		12.7	
	変 ら ず	50.0	43.4	47.0	57.7	44.2	49.0	42.6	58.1	41.7	63.8	50.0	51.6	44.2	50.0	46.5	55.7		49.1	
	減 少	36.5	47.2	40.8	36.5	48.8	38.8	46.8	32.6	45.0	29.8	30.4	31.7	38.5	26.8	44.6	30.8		38.2	
	D・I	-23.0	-37.8	-28.6	-30.7	-41.8	-26.6	-36.2	-23.3	-31.7	-23.4	-10.8	-15.0	-21.2	-3.6	-35.7	-17.3		-25.5	
	修正値	-21.7	-38.0	-31.7	-28.0	-38.7	-28.0	-30.0	-19.0	-30.4	-22.7	-16.6	-12.6	-17.7	-6.8	-26.2	-13.9	-8.5	-22.1	
	傾 向 値	-9.5		-19.2		-29.4		-33.5		-33.5		-32.4		-27.6		-24.9				
受 注 残	増 加	7.7	9.4	12.5	5.8	7.0	14.6	6.4	9.3	11.9	6.4	17.9	15.3	9.6	21.4	7.1	11.5		12.7	
	変 ら ず	55.8	43.4	45.8	59.6	48.8	47.9	53.2	55.8	47.4	63.8	55.3	55.9	57.7	53.6	42.9	65.4		45.5	
	減 少	36.5	47.2	41.7	34.6	44.2	37.5	40.4	34.9	40.7	29.8	26.8	28.8	32.7	25.0	50.0	23.1		41.8	
	D・I	-28.8	-37.8	-29.2	-28.8	-37.2	-22.9	-34.0	-25.6	-28.8	-23.4	-8.9	-13.5	-23.1	-3.6	-42.9	-11.6		-29.1	
	修正値	-24.7	-36.2	-31.9	-26.6	-36.0	-24.4	-28.8	-22.5	-25.2	-21.0	-14.4	-11.6	-21.1	-6.9	-35.3	-9.1	-14.2	-24.7	
	傾 向 値	-12.4		-21.1		-30.2		-33.5		-32.3		-29.8		-25.5		-24.8				
収 益	増 加	15.4	9.4	16.3	7.7	9.3	18.4	4.3	11.6	10.0	6.4	19.6	18.3	15.4	19.6	7.1	13.5		16.4	
	変 ら ず	50.0	47.2	49.0	59.6	46.5	46.9	51.0	51.2	51.7	63.8	51.8	56.7	59.6	59.0	53.6	67.3		49.1	
	減 少	34.6	43.4	34.7	32.7	44.2	34.7	44.7	37.2	38.3	29.8	28.6	25.0	25.0	21.4	39.3	19.2		34.5	
	D・I	-19.2	-34.0	-18.4	-25.0	-34.9	-16.3	-40.4	-25.6	-28.3	-23.4	-9.0	-6.7	-9.6	-1.8	-32.2	-5.7		-18.1	
	修正値	-17.6	-33.5	-22.8	-22.6	-31.6	-18.8	-34.9	-21.7	-26.6	-22.4	-15.9	-5.5	-7.7	-6.7	-23.1	-2.6	-15.4	-14.5	
	傾 向 値	-10.2		-17.9		-25.2		-28.4		-29.4		-29.3		-25.0		-20.8				
施 工 高	増 加	7.7	7.5	10.2	5.8	4.7	8.2	6.4	9.3	10.0	8.5	8.9	10.0	11.5	14.3	7.1	9.6		10.9	
	変 ら ず	51.9	49.1	44.9	53.8	46.5	48.9	44.7	51.2	46.7	57.5	46.5	60.0	42.3	51.8	42.9	51.9		43.6	
	減 少	40.4	43.4	44.9	40.4	48.8	42.9	48.9	39.5	43.3	34.0	44.6	30.0	46.2	33.9	50.0	38.5		45.5	
	D・I	-32.7	-35.9	-34.7	-34.6	-44.1	-34.7	-42.5	-30.2	-33.3	-25.5	-35.7	-20.0	-34.7	-19.6	-42.9	-28.9		-34.6	
	修正値	-30.0	-34.9	-37.9	-32.2	-40.2	-35.2	-37.8	-27.4	-31.7	-25.4	-38.8	-17.6	-30.5	-20.9	-36.7	-25.5	-6.2	-32.6	
	傾 向 値	-17.6		-26.6		-35.6		-39.1		-38.6		-38.8		-37.7		-36.6				
価 格 動 向	請 負 価 格	-15.4	-15.1	-22.5	-17.4	-16.3	-16.3	-27.7	-11.7	-20.0	-19.2	-8.9	-13.4	-7.8	-3.6	-14.6	0.0		-9.3	
	〃 修正値	-13.1	-14.0	-23.3	-15.5	-16.5	-16.6	-24.2	-11.6	-18.6	-18.1	-11.4	-12.5	-9.4	-4.8	-10.3	-1.9	-0.9	-6.9	
	〃 傾 向 値	-3.4		-8.9		-14.4		-18.7		-21.1		-19.9		-17.2		-14.5				
	材 料 価 格	15.7	11.6	16.6	15.7	14.2	14.6	32.6	14.3	34.5	32.6	66.7	38.0	68.0	64.8	61.0	60.0		64.1	
	〃 修正値	18.3	13.9	17.4	19.2	12.6	14.4	29.6	10.9	34.9	30.5	59.5	38.6	62.8	57.9	58.0	54.7	-4.8	60.1	
	〃 傾 向 値	24.5		20.5		17.2		17.6		22.1		30.7		43.7		54.0				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	-5.8	-9.6	-8.3	-7.8	-7.1	-4.2	-13.3	-4.8	-6.9	-6.7	-5.6	-5.2	-10.0	-3.7	-9.4	-8.0		-7.7	
	〃 修正値	-5.3	-9.1	-8.0	-7.5	-6.1	-4.4	-12.2	-4.6	-7.0	-5.9	-6.2	-4.3	-8.8	-4.6	-8.2	-7.7	0.6	-7.0	
	資 金 繰 り	-11.6	-20.8	0.0	-11.8	-13.9	-12.5	-4.2	-13.9	-13.3	-2.1	-9.1	-18.6	-15.4	-9.1	-23.2	-5.8		-18.2	
〃 修正値	-10.5	-19.0	-4.2	-11.6	-12.1	-15.6	-2.3	-11.1	-11.3	-1.1	-12.1	-17.1	-12.3	-12.3	-20.7	-3.5	-8.4	-16.5		
前 年 同 期 比	売 上 額	-28.8		-32.7		-34.9		-36.2		-28.9		-21.4		-19.3		-30.4				
	収 益	-30.8		-40.8		-32.6		-42.5		-35.5		-35.7		-32.7		-39.3				
雇 用	残 業 時 間	-17.4	-20.7	-18.3	-17.3	-23.3	-12.5	-14.9	-18.6	-13.4	-12.8	-7.2	-5.0	-11.5	-8.9	-19.6	-13.7		-10.9	
	人 手	-23.1	-30.2	-20.4	-21.2	-14.0	-18.7	-21.3	-9.3	-23.3	-17.0	-28.6	-23.3	-23.1	-30.3	-26.8	-27.5		-27.3	
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	42.3	33.3	25.0	22.4	19.5	6.4	36.2	14.3	33.3	17.8	18.2	10.2	15.7	14.5	21.8	7.8		18.5	
	借入しない/借入の予定なし(%)	57.7	66.7	75.0	77.6	80.5	93.6	63.8	85.7	66.7	82.2	81.8	89.8	84.3	85.5	78.2	92.2		81.5	
	借入難易度	-4.6		-2.6		-8.1		4.7		-4.1		2.2		-4.6		-4.4				
有効回答事業所数		52		49		43		47		60		56		52		56				

建設業

転記表 No.2

2022年4～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		2020年		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		対 前期比	2022年 7～9月期	
	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期						
設備投資動向(%)	現在の設備	-2.0	-6.0	-4.3	-3.9	-4.9	-6.4	-6.5	-4.9	-6.8	-4.3	-3.7	-3.5	-6.3	-5.6	-9.3	-4.3			-9.4	
	実施した・予定あり	25.5	26.0	29.2	16.0	19.5	22.2	26.7	17.1	25.4	26.7	16.7	22.4	14.0	18.9	29.6	16.0			16.7	
	事業用土地・建物	7.7	7.7	-	25.0	12.5	-	25.0	14.3	26.7	33.3	22.2	23.1	-	10.0	18.8	-			11.1	
	機械・設備の新・増設	53.8	30.8	50.0	75.0	62.5	50.0	50.0	57.1	26.7	50.0	66.7	30.8	100.0	30.0	25.0	75.0			33.3	
	機械・設備の更改	23.1	30.8	35.7	25.0	37.5	40.0	33.3	14.3	26.7	33.3	44.4	30.8	28.6	40.0	31.3	25.0			33.3	
	事務機器	23.1	23.1	28.6	12.5	25.0	30.0	16.7	14.3	20.0	16.7	33.3	15.4	28.6	30.0	31.3	12.5			22.2	
	車両	53.8	46.2	57.1	37.5	37.5	70.0	33.3	71.4	53.3	58.3	55.6	61.5	57.1	60.0	56.3	50.0			55.6	
	その他	-	7.7	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-			-
	実施しない・予定なし	74.5	74.0	70.8	84.0	80.5	77.8	73.3	82.9	74.6	73.3	83.3	77.6	86.0	81.1	70.4	84.0			83.3	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	36.5		38.8		55.8		44.7		38.3		30.4		36.5		50.0				
人手不足		28.8		12.2		18.6		19.1		30.0		21.4		23.1		26.8					
大手企業との競争の激化		7.7		6.1		9.3		4.3		6.7		5.4		3.8		5.4					
同業者間の競争の激化		17.3		28.6		27.9		31.9		16.7		26.8		17.3		21.4					
親企業による選別の強化		-		-		-		-		3.3		-		1.9		-					
合理化の不足		3.8		4.1		4.7		4.3		1.7		1.8		1.9		-					
利幅の縮小		17.3		26.5		14.0		27.7		13.3		14.3		15.4		23.2					
材料価格の上昇		9.6		12.2		16.3		19.1		33.3		55.4		50.0		60.7					
下請の確保難		13.5		12.2		4.7		8.5		6.7		8.9		13.5		7.1					
駐車場・資材置場の確保難		3.8		-		-		-		-		-		-		1.8					
人件費の増加		19.2		12.2		11.6		6.4		8.3		5.4		3.8		5.4					
人件費以外の経費の増加		3.8		4.1		4.7		2.1		3.3		3.6		5.8		3.6					
技術力の不足		5.8		6.1		4.7		14.9		8.3		14.3		11.5		3.6					
代金回収の悪化		1.9		-		-		-		1.7		1.8		1.9		1.8					
天候の不順		13.5		6.1		2.3		10.6		6.7		3.6		3.8		3.6					
地場産業の衰退		-		2.0		-		-		3.3		-		-		1.8					
大手企業・工場の縮小・撤退	3.8		8.2		-		-		1.7		-		-		1.8						
その他	7.7		2.0		4.7		6.4		6.7		5.4		5.8		1.8						
問題なし	7.7		12.2		7.0		8.5		8.3		7.1		5.8		7.1						
重点経営施策(%)	販路を広げる	34.6		42.9		39.5		38.3		40.0		35.7		25.0		37.5					
	経費を節減する	40.4		28.6		32.6		36.2		33.3		39.3		34.6		50.0					
	情報力を強化する	21.2		20.4		27.9		23.4		11.7		19.6		23.1		19.6					
	新しい工法を導入する	1.9		2.0		4.7		8.5		3.3		5.4		7.7		7.1					
	新しい事業を始める	1.9		4.1		2.3		2.1		5.0		1.8		3.8		1.8					
	技術力を高める	30.8		28.6		27.9		31.9		28.3		35.7		34.6		30.4					
	人材を確保する	32.7		32.7		25.6		29.8		33.3		23.2		26.9		33.9					
	パート化を図る	1.9		-		-		2.1		-		1.8		-		-					
	教育訓練を強化する	9.6		12.2		9.3		10.6		8.3		8.9		9.6		5.4					
	労働条件を改善する	5.8		2.0		2.3		6.4		3.3		7.1		7.7		7.1					
	不動産の有効活用を図る	-		2.0		2.3		4.3		5.0		1.8		1.9		7.1					
	その他	1.9		-		-		2.1		1.7		1.8		-		-					
特になし	7.7		16.3		9.3		10.6		15.0		12.5		13.5		10.7						
有効回答事業所数		52		49		43		47		60		56		52		56					

江戸川区 産業経済部 産業経済課 計画係

TEL:03-5662-9014 (直通)